

釜石市子どもの生活状況調査【結果概要】

令和 6 年 10 月

保健福祉部こども家庭課

I 調査の概要

I 調査の目的

本市における「子ども・子育て支援事業計画」の次期計画（令和 7 年度から令和 11 年度まで）の策定にあたり、本計画は子どもの貧困対策計画の性格を持ち合わせていることから、本市の子どもを取り巻く生活実態や経済状況などを把握し、子どもの貧困対策に関する施策を検討及び展開するための基礎データを得ることを目的に実施した。

2 調査の内容

(1) 対象者

市内の小学 5 年生・中学 2 年生及びその保護者

(2) 調査方法

国が示した調査票様式を基本とした無記名による調査

①小学 5 年生及び中学 2 年生

学校配付・回答・回収

②保護者

学校配付、郵送又はオンライン回答

(3) 調査期間

令和 6 年 6 月 20 日（木）～ 令和 6 年 7 月 4 日（木）

(4) 主な調査項目

①小学 5 年生と中学 2 年生

学習環境・習慣、進路希望、食事の頻度、生活習慣、生活満足度、支援の利用状況

②保護者

世帯の状況、就労状況、暮らし向き、進路希望、心理的な状況、生活満足度、支援の利用状況

(5) 回収結果

| 調査対象 | 対象数 ※ | 回収数 | 回収率 |
|---------|-------|-------|-------|
| 小学 5 年生 | 177 人 | 169 件 | 95.5% |
| 中学 2 年生 | 172 人 | 160 件 | 93.0% |
| 保護者 | 349 人 | 161 件 | 46.1% |

※令和 6 年 6 月 1 日現在の児童生徒数

3 調査の分析

本調査では、収入階層及び世帯類型を以下の区分に分けて、比較分析しました。

【収入階層区分】

世帯の年間収入の水準について等価世帯収入※を算出し、以下のとおり3区分としました。

本調査における等価世帯収入の中央値は「265万円」、その1/2の値は「133万円」となりました。

| | |
|------------------------|-------------------------------|
| 中央値の1/2未満 (133万円未満) | 回答者の等価世帯収入を昇順に並べたときの中央値の1/2未満 |
| 中央値未満 (265万円未満) | 上記中央値の1/2以上、中央値未満 |
| 中央値以上 (265万円以上) | 上記中央値以上 |

※ 本調査における等価世帯収入の算出方法

- ・世帯の年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする。
(例:「50~100万円未満」であれば75万円、「50万円未満」であれば25万円。)
- ・上記の世帯の収入の値を、生計を同一にしている家族の人数の平方根で除して得た値とする。

【世帯類型区分】

世帯の類型は、以下のとおり4区分としました。

世帯の構成は、「核家族」が72.0%で最も高く、「その他の世帯」が12.4%、「ひとり親世帯」が6.8%、「ひとり親世帯(祖父母等と同居)」が5.0%となっています。

| | |
|-----------------|----------------------------|
| ひとり親世帯 | 父親又は母親と子どもからなる世帯 |
| ひとり親世帯(祖父母等と同居) | 上記ひとり親世帯に加えて、祖父母等が同居している世帯 |
| 核家族世帯 | 夫婦と子どもからなる世帯 |
| その他の世帯 | 上記以外の世帯 |

【その他】

- ・回答は各質問の回答者数「n」を基礎とした百分率「%」で表示しています。
- ・集計結果はすべて小数点以下第2位で四捨五入しているため、内訳の合計値が100.0%にならないことがあります。
- ・小学5年生及び中学2年生の調査の回答結果を示している場合は **子** の表示を、保護者の調査の回答結果を示している場合は **親** の表示をしています。

II 本調査における本市の状況

【世帯の経済状況】

(世帯の経済状況)

- ・ 全体では、収入階層区分の「中央値以上」が約 5 割、「中央値未満」以下の区分が約 5 割となっており、450~800 万円未満の収入層が多い。
- ・ ひとり親世帯では、収入階層区分の「中央値以上」が 4 割、「中央値未満」以下の区分が 5 割強となっており、全体と比較すれば収入が少ない傾向にある。1000 万円以上の収入階層も一定数見られるものの、250 万円未満の収入層が多い。

(暮らしの状況・経済的理由で経験したこと・暮らしの満足度)

- ・ 全体的にみると、「中央値未満」以下の収入階層、「ひとり親世帯」及び「核家族世帯」において生活が苦しいなどの経済的困難が見られる。
- ・ むらしの満足度は、保護者及びこども共に中央値「5」未満の割合は 1~2 割と低いことから、満足度が比較的高いことが伺える。

(保護者の就労状況)

- ・ 就労形態は、母親、父親共に正社員等の共働きが多い。
- ・ ひとり親世帯の母親は、正社員等が 6 割、パート等が 4 割という状況で、就労していないひとり親はない。
- ・ 正社員等の約 6 割は、「中央値以上」の収入階層である。

(養育費の取り決め)

- ・ 離婚後の養育費の取り決めをしている割合は 7 割で、そのうちの約半数が履行されていない状況にある。
- ・ 離婚後、養育費を受け取っている割合は約 3.5 割と低く、ひとり親世帯の生活に影響を及ぼしていることが推測される。

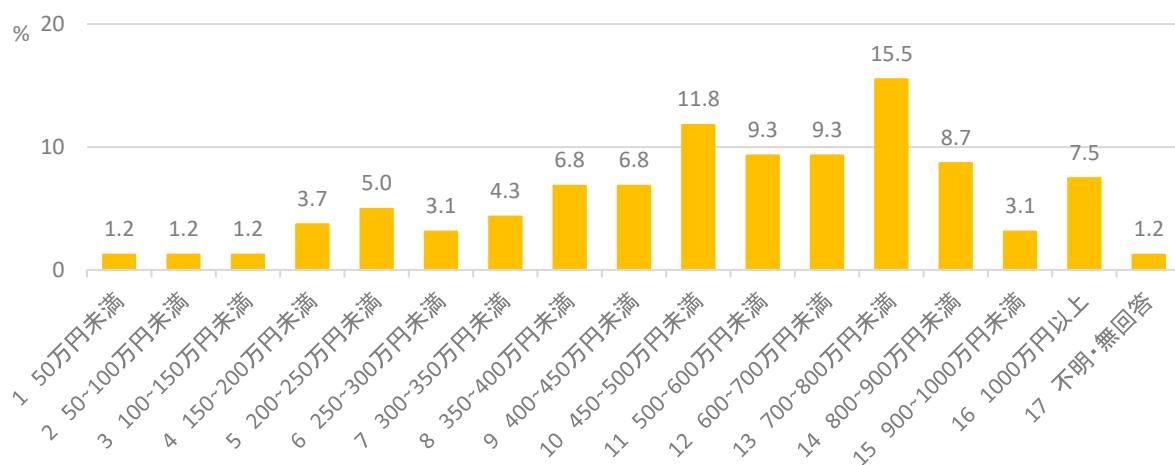
■世帯の経済状況

①年間収入

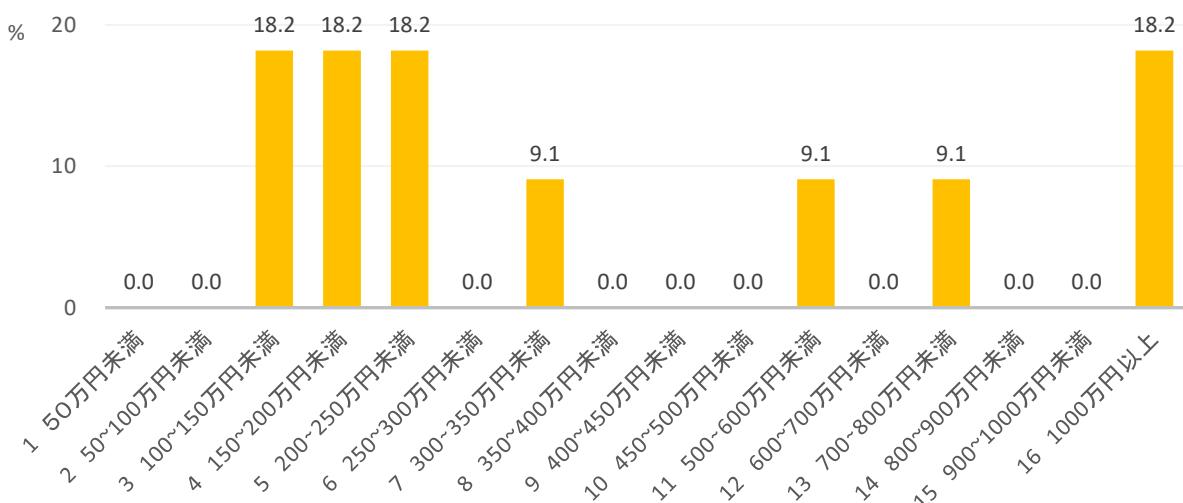
親

- ・全体では、「700~800万円未満」が15.5%と最も高く、ひとり親世帯では、「100~150万円未満」「150~200万円未満」「200~250万円未満」と「1000万円以上」の階層が高くなっている。

【全体】n=161



【ひとり親世帯】n=11

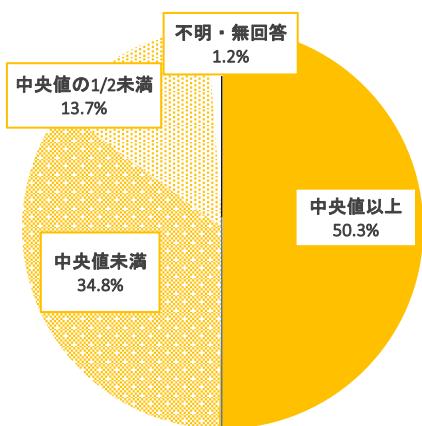


②収入階層

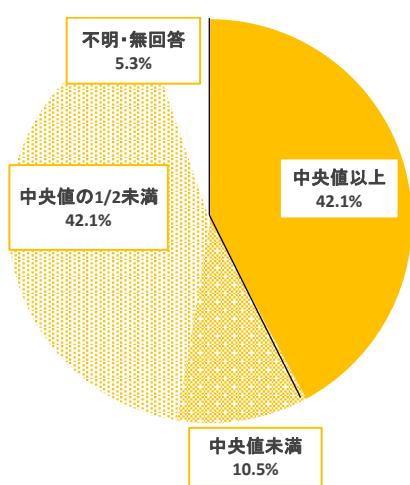
親

- ・全体では、「中央値以上」が 50.3%と最も高く、次いで「中央値未満」34.8%、「中央値の 1/2 未満」13.7%となっており、「中央値未満」と「中央値の 1/2 未満」を合わせると 48.5%となっている。
- ・ひとり親世帯では、「中央値以上」と「中央値の 1/2 未満」がそれぞれ 42.1%と最も高く、「中央値未満」が 10.5%となっており、「中央値未満」と「中央値の 1/2 未満」の世帯を合わせると 52.6%となっている。

【全体】 n=161



【ひとり親世帯】 n=11



■暮らしの状況

親

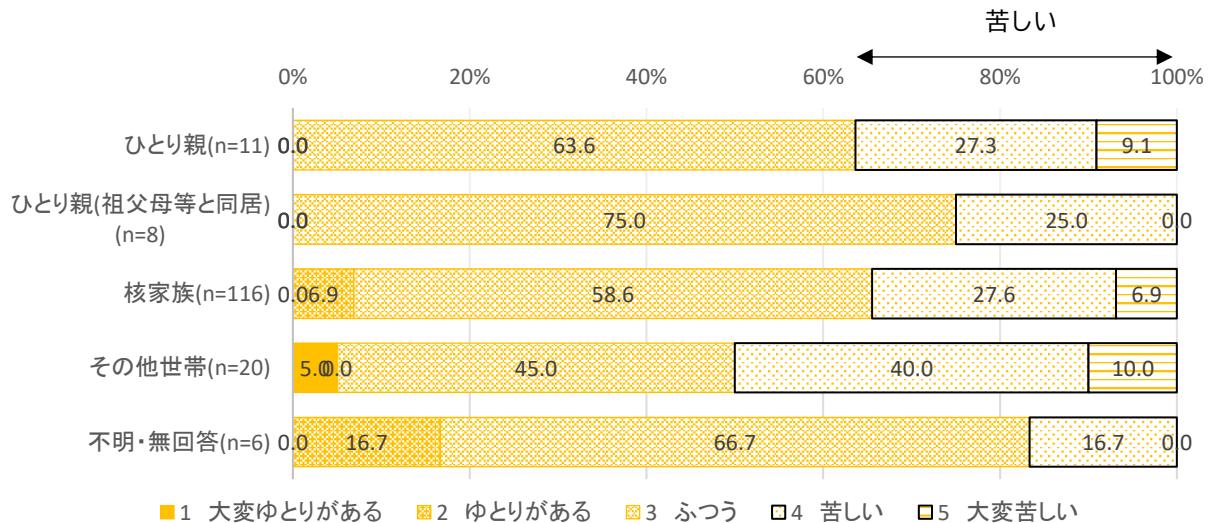
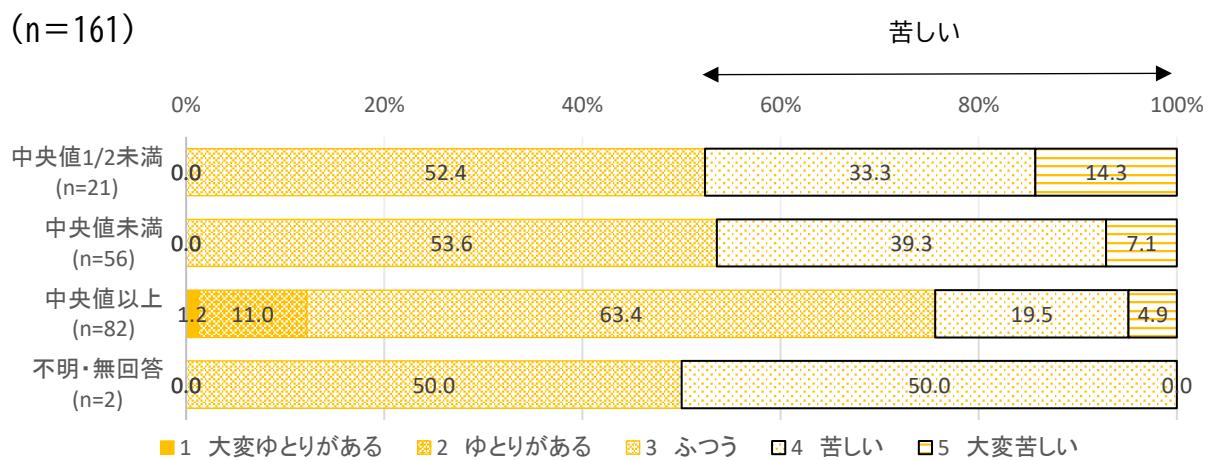
(収入階層区分)

- 「中央値 1/2 未満」では、「苦しい」33.3%、「大変苦しい」14.3%となっており、合わせると47.6%となっている。
- 「中央値未満」では、「苦しい」39.3%、「大変苦しい」7.1%となっており、合わせると46.4%となっている。

(世帯類型区分)

- 「その他世帯」では、「苦しい」40.0%、「大変苦しい」10.0%となっており、合わせると50.0%となっている。
- 「ひとり親世帯」では、「苦しい」27.3%、「大変苦しい」9.1%となっており、「核家族世帯」では、「苦しい」27.6%、「大変苦しい」6.9%となっている。

(n=161)



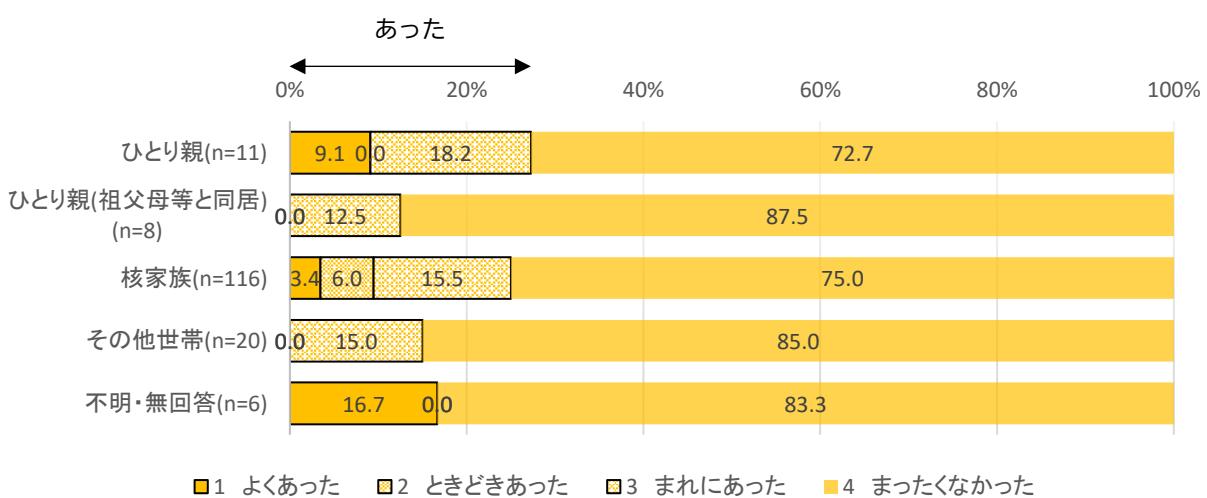
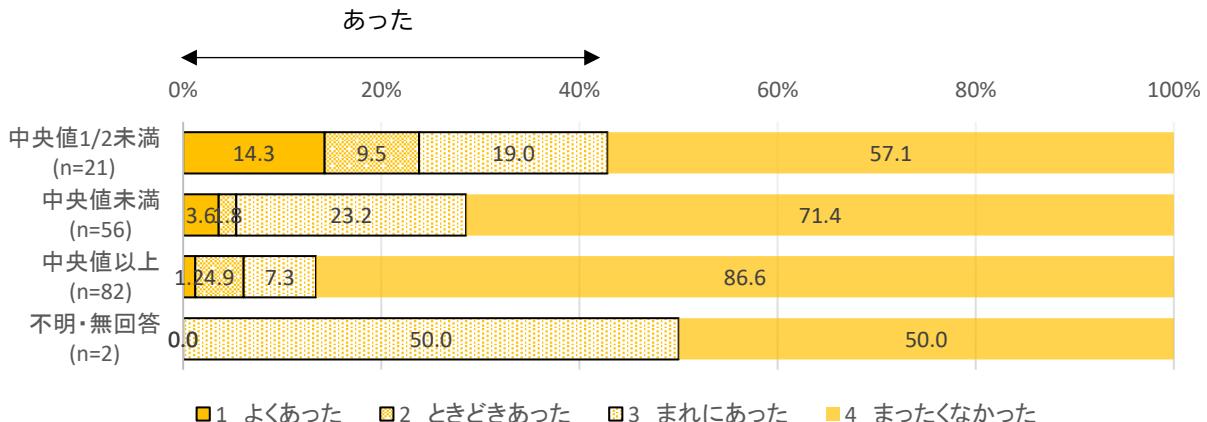
■経済的理由で経験したこと

親

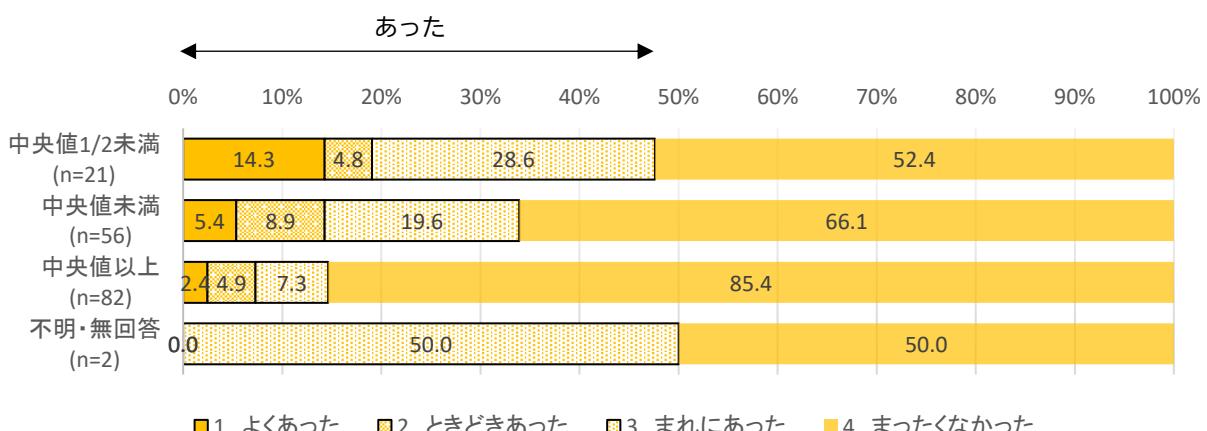
- 買えなかった経験や未払いになった経験をした割合は、「中央値の1/2未満」と「中央値未満」の収入階層区分と「ひとり親」と「核家族」の世帯類型区分で高くなっている。

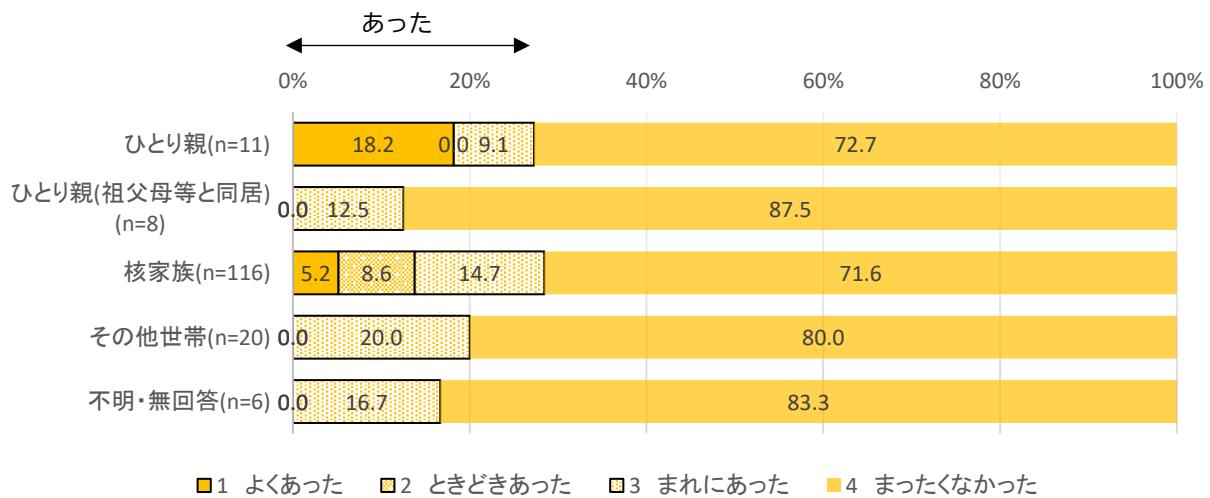
(n=161)

①過去1年間にお金が足りなくて必要とする食料が買えなかつた経験

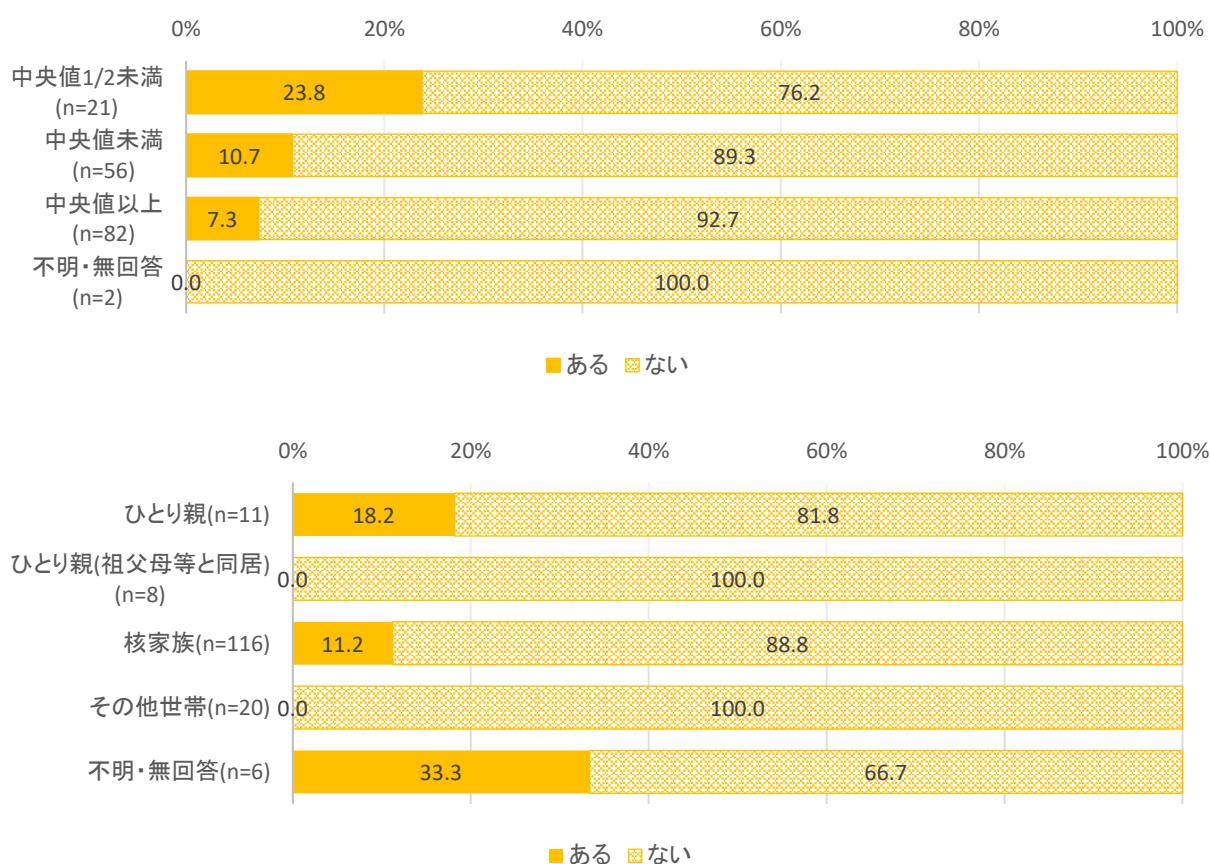


②過去1年間にお金が足りなくて必要とする衣類が買えなかつた経験





③過去1年間にお金が足りなくて電気・ガス・水道料金の未払いになった経験



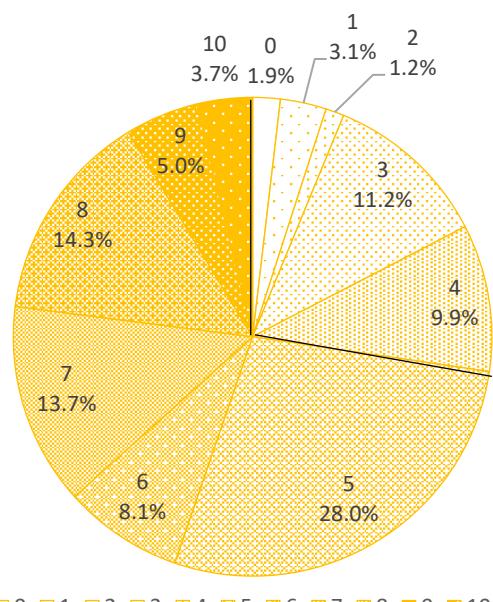
■暮らしの満足度

- ・満足度「5」未満の割合が全体で27.3%、ひとり親世帯で18.2%となっている。
- ・満足度「5」未満の割合が「中央値の1/2未満」47.6%、「中央値未満」34%、「中央値以上」18.3%となっている。
- ・満足度「5」未満の割合が「小学5年生」14.3%、「中学2年生」20.6%となっている。

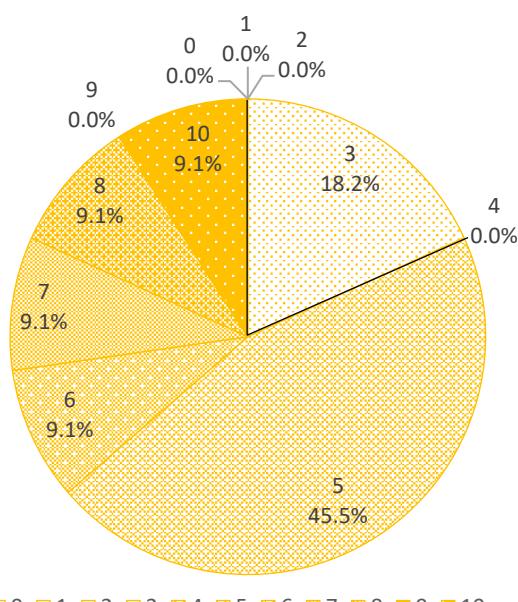
①保護者の回答

親

【全体】(n=161)

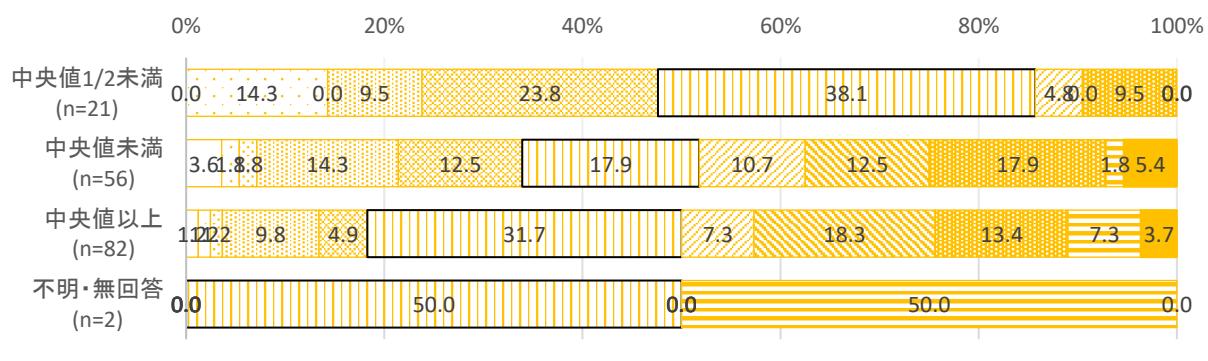


【ひとり親世帯】(n=11)



小← 満足度 →大

小← 満足度 →大

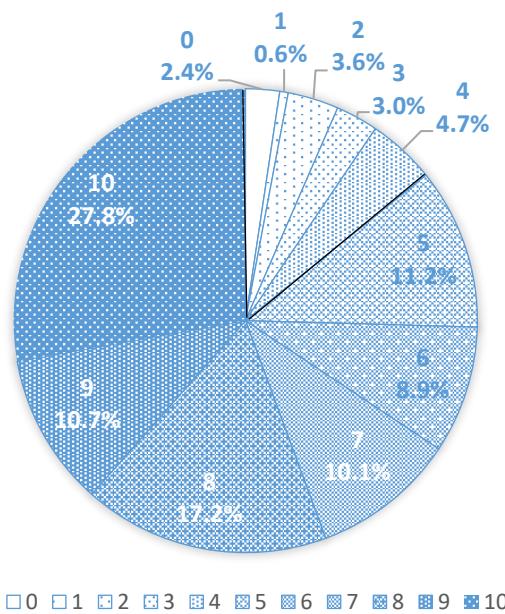


小← 満足度 →大

②子どもの回答

子

【小学 5 年生】 n=169



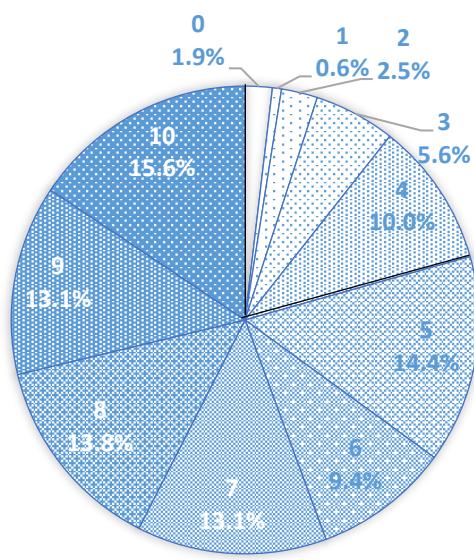
□ 0 □ 1 □ 2 □ 3 □ 4 □ 5 □ 6 □ 7 □ 8 □ 9 □ 10

小←

満足度

→大

【中学 2 年生】 n=160



□ 0 □ 1 □ 2 □ 3 □ 4 □ 5 □ 6 □ 7 □ 8 □ 9 □ 10

小←

満足度

→大

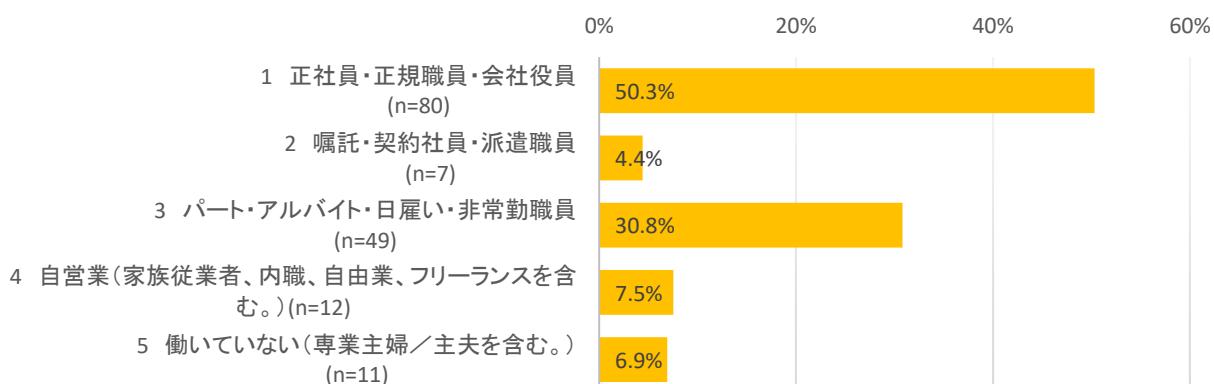
■保護者（母親・父親）の就労状況

親

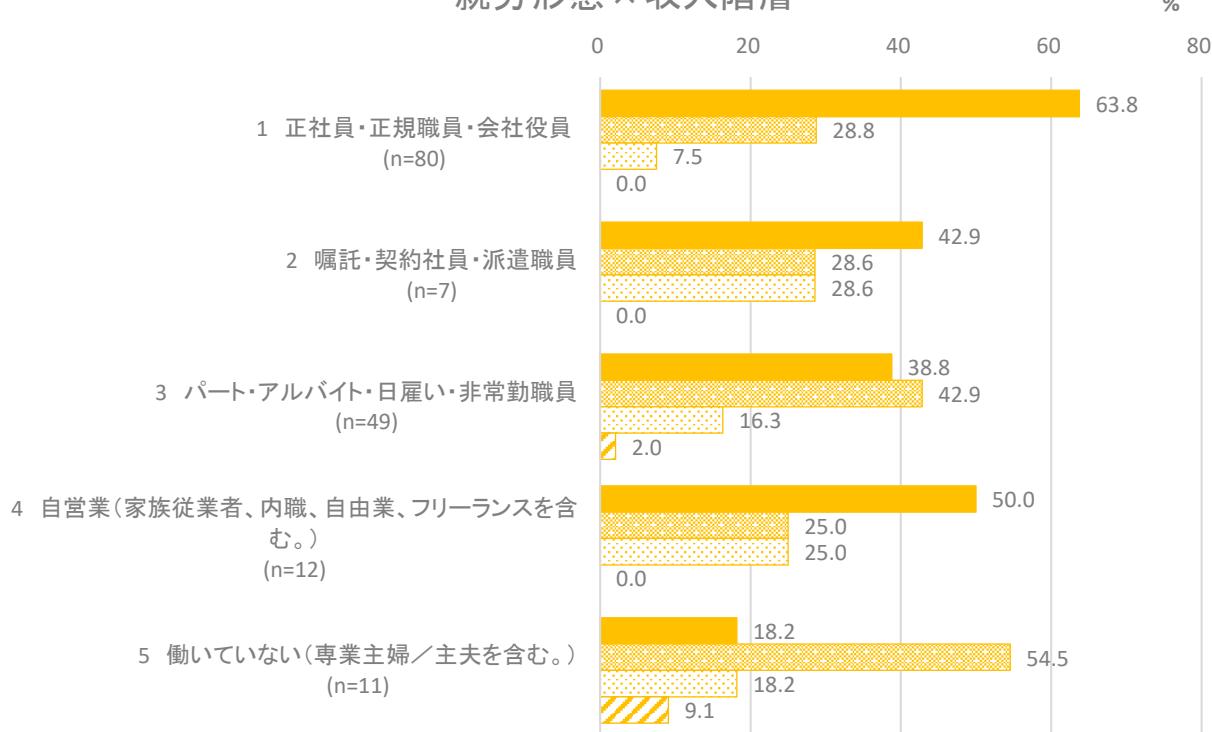
- 「正社員・正規職員・会社役員」の割合が母親 50.3%、父親 81.3%と最も高くなっている。
- ひとり親世帯の母親は、「正社員・正規職員・会社役員」が 60.0%、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 40.0%となっている。
- 働いていない理由として、「自分の病気や障害のため」が 14.3%となっている。

①就労形態

【母親】 n=159

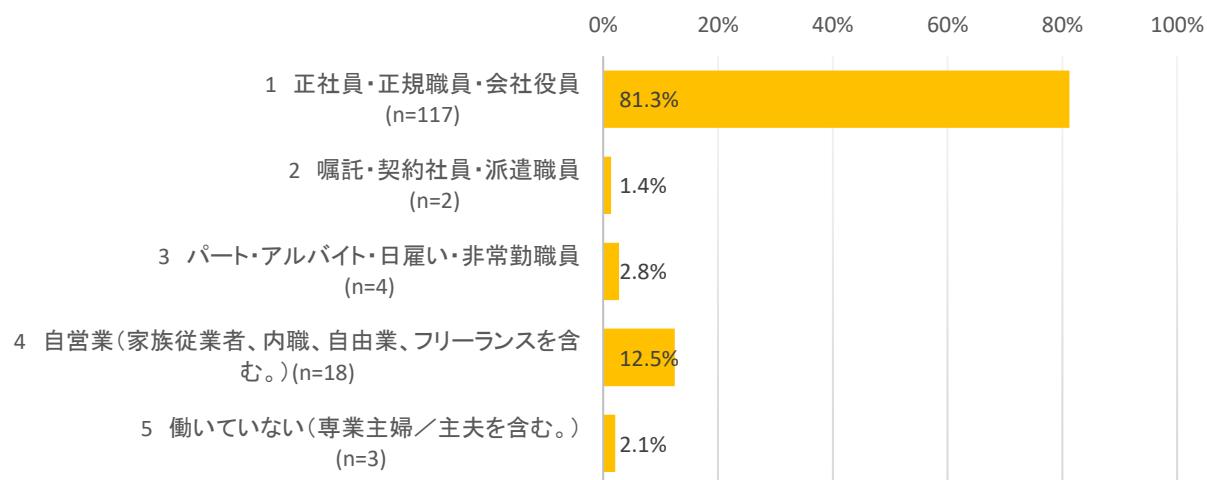


就労形態 × 収入階層

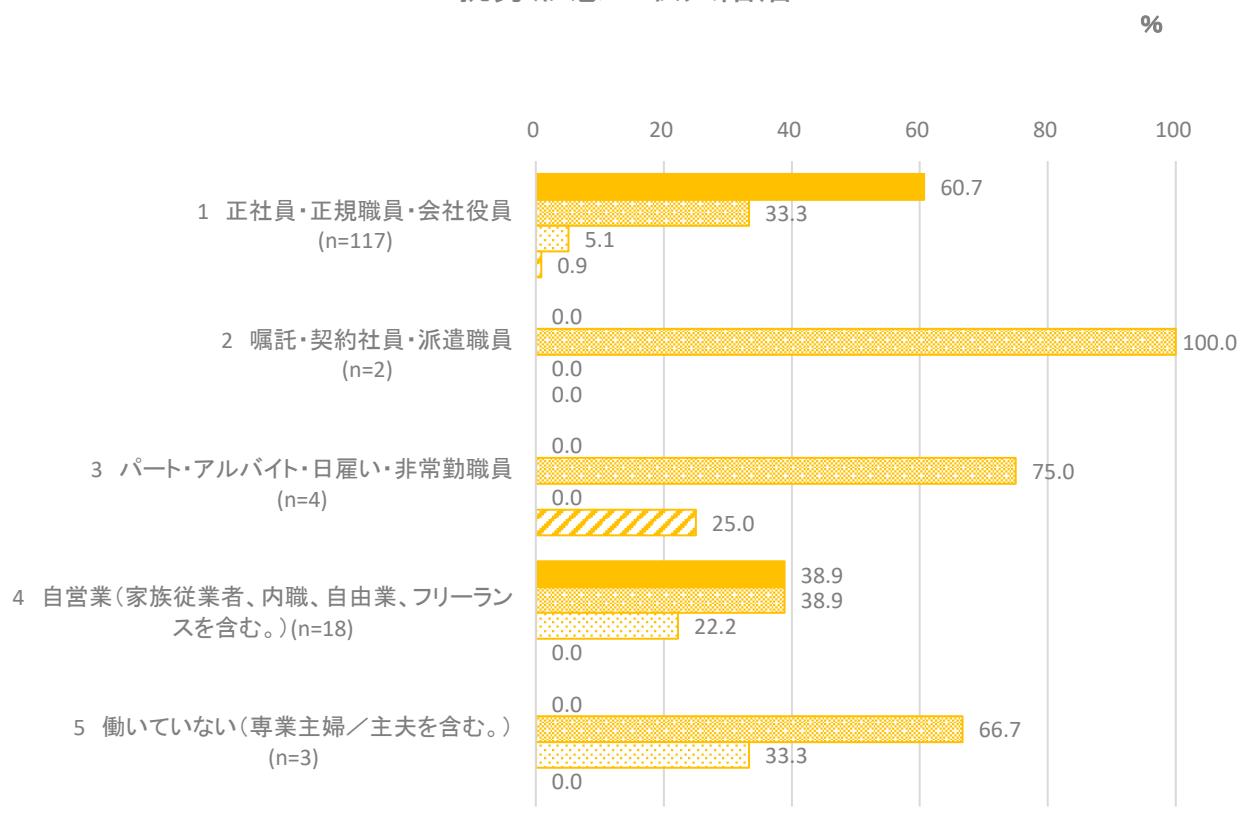


■ 中央値以上 ■ 中央値未満 ■ 中央値の1/2未満 ■ 不明・無回答

【父親】 n=144



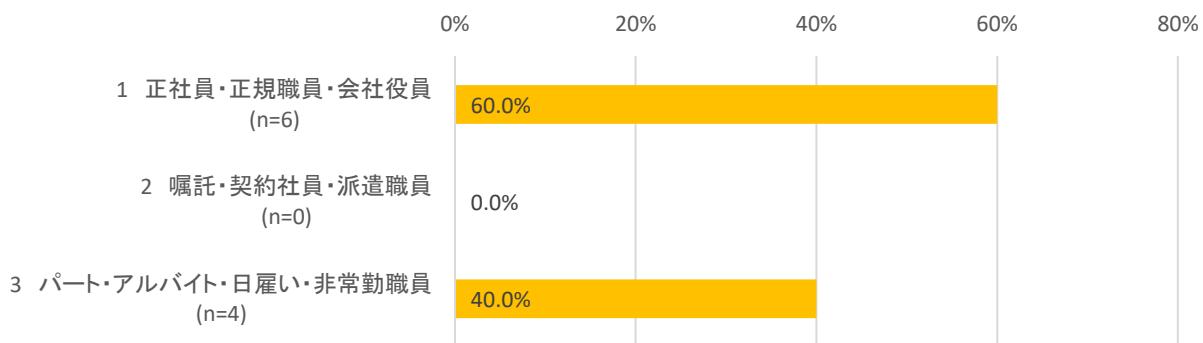
就労形態 × 収入階層



■ 中央値以上 ■ 中央値未満 ■ 中央値の1/2未満 □ 不明・無回答

【ひとり親世帯】

(母親) n=10



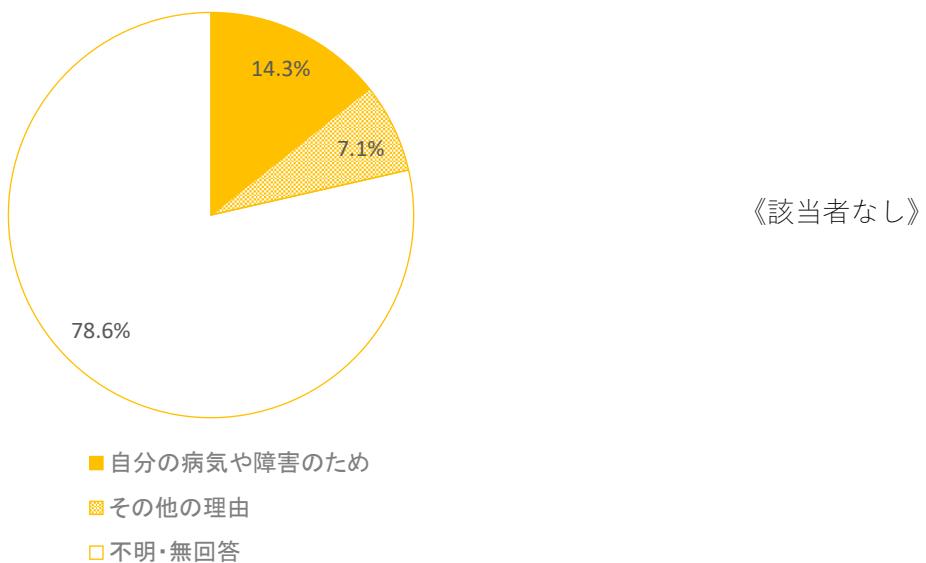
(父親) n=1



②働いていない理由（専業主婦・主夫を含む）

【全体】 n=14

【ひとり親世帯】 n=0

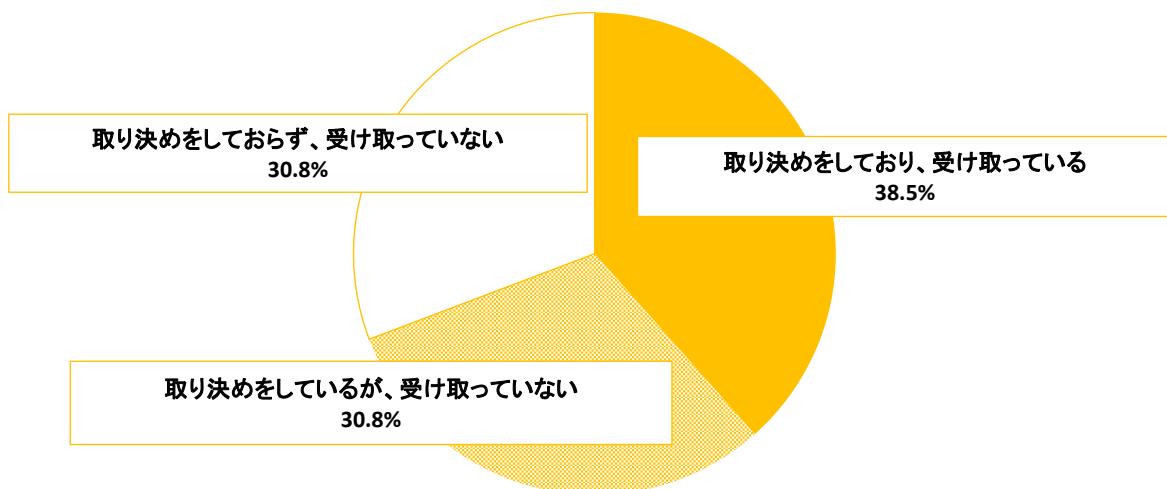


■養育費の取り決め（離婚のひとり親）

親

- ・養育費の取り決めをしている割合は 69.3%であるものの、そのうち「受け取っている」が 38.5%、「受け取っていない」が 30.8%となっており、全体の 61.6%が養育費を受け取っていない。

n=13



【子どもの生活状況】

(子どもの食事・就寝開始時刻の安定)

- ・ 子どもの約 8 割以上が食事(朝食・夕食・長期休み期間の昼食)を毎日食べており、約 7 割が睡眠開始時間を決めていることから、規則正しい生活を送っていることが伺える。

(スマホ(スマートフォン)やゲーム機)

- ・ 子どもの 9 割以上がスマホやゲーム機を所持しており、月～金に 2 時間以上使用している割合は、小学 5 年生で約 3 割、中学 2 年生で約 6 割となっており、高学年になるほど高い。
- ・ 中学 2 年生のほとんどが月～金に 1 時間以上使用しており、3 時間以上使用している割合も約 3 割となっていることから、勉強・成績に影響を及ぼすことが危惧される。

(逆境経験の有無)

- ・ 逆境経験は、子どもの約 6 割で経験がないものの、無回答を除く約 3 割が少なくとも 1 つを経験しており、心身ともに何らかのストレスを感じていることが推察される。

■子どもの食事

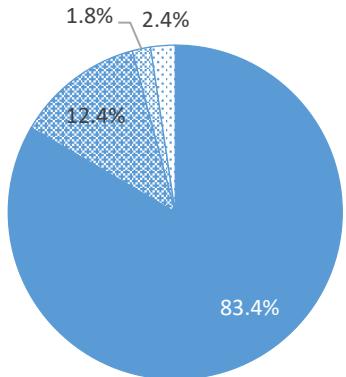
子

- ・「毎日食べる」と回答した割合は、朝食：小学5年生83.4%、中学2年生79.4%、夕食：小学5年生95.3%、中学2年生90.6%、長期休みの昼食：小学5年生92.3%、中学2年生78.1%となっている。
- ・「週1～2日、ほとんど食べない」と回答した割合は、朝食で小学5年生2.4%、中学2年生6.3%となっている。

(小学5年生) n=169

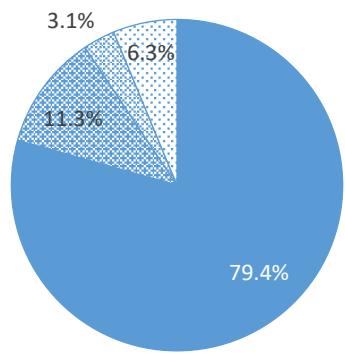
(中学2年生) n=160

朝食



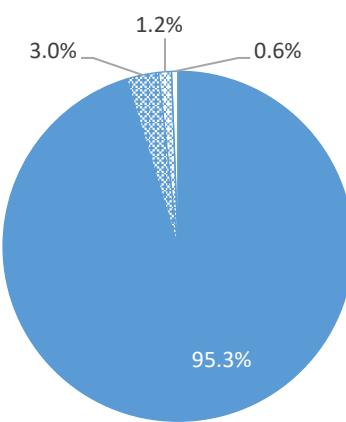
■毎日食べる
■週5～6日
■週3～4日
■週1～2日、ほとんど食べない

朝食



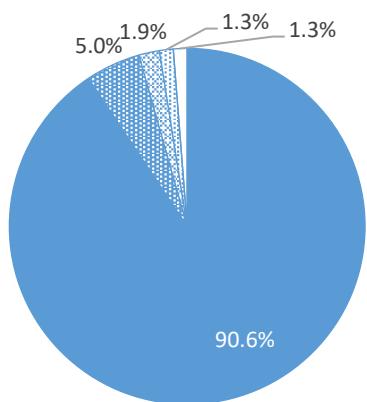
■毎日食べる
■週5～6日
■週3～4日
■週1～2日、ほとんど食べない

夕食



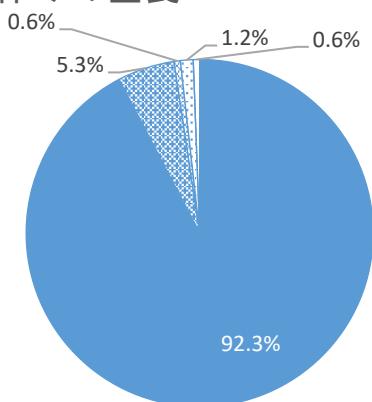
■毎日食べる
■週5～6日
■週3～4日
□不明・無回答

夕食



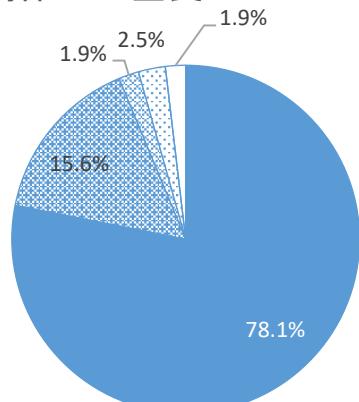
■毎日食べる
■週5～6日
■週3～4日
■週1～2日、ほとんど食べない

長期休みの昼食



- 毎日食べる
- 週5~6日
- 週3~4日
- 週1~2日、ほとんど食べない
- 不明・無回答

長期休みの昼食

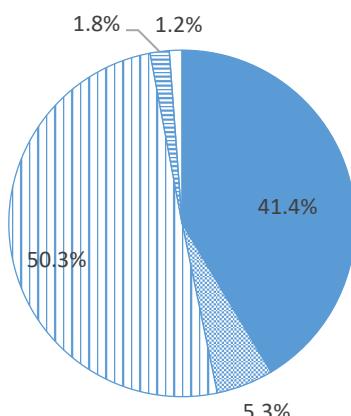


- 毎日食べる
- 週5~6日
- 週3~4日
- 週1~2日、ほとんど食べない
- 不明・無回答

■スマホやゲーム機 ①所持

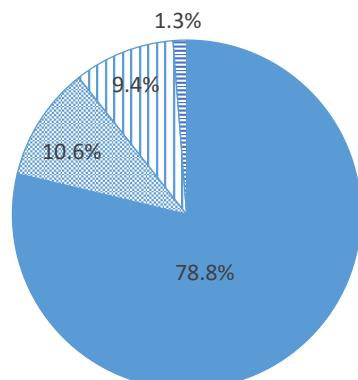
- ・ 小学 5 年生は「ゲームだけ持っている」割合が 50.3%で最も高く、次いで「スマホとゲームをどちらも持っている」が 41.4%となっており、どちらか 1 つでも持っている割合は、全体の 97%となっている。
- ・ 中学 2 年生は「スマホとゲームをどちらも持っている」が 78.8%と最も高く、どちらか 1 つでも持っている割合は、全体の 98.8%となっている。

(小学 5 年生) n=169



- 1 スマホとゲームをどちらも持っている
- 2 スマホだけ持っている
- 3 ゲームだけ持っている
- 4 スマホもゲームも持っていない
- 不明・無回答

(中学 2 年生) n=160

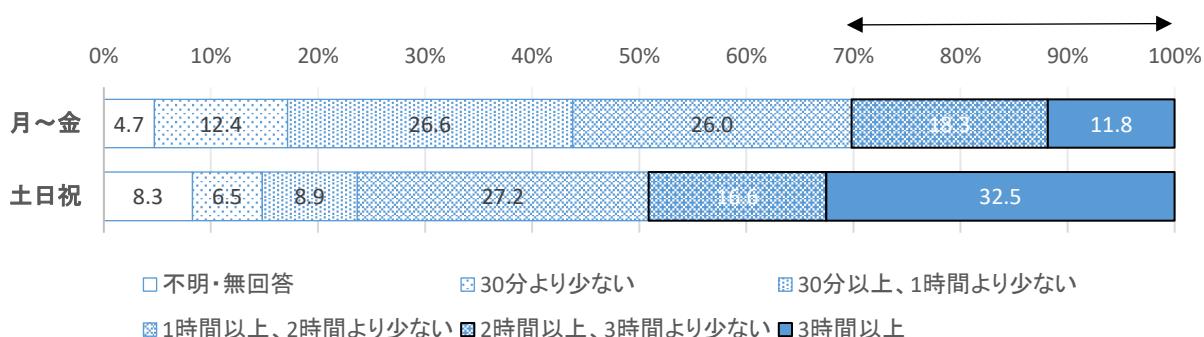


- 1 スマホとゲームをどちらも持っている
- 2 スマホだけ持っている
- 3 ゲームだけ持っている
- 4 スマホもゲームも持っていない

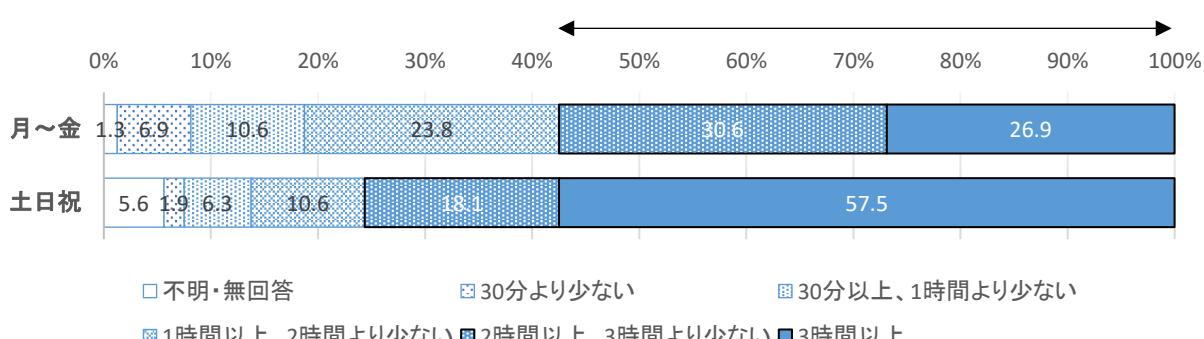
②使用時間

- スマホやゲーム機を2時間以上使用している小学5年生は、月～金で30.1%、土日祝で49.1%に対し、中学生は、月～金で57.5%、土日祝で75.6%となっている。

(小学5年生) n=169



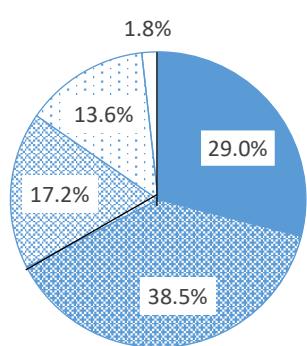
(中学2年生) n=160



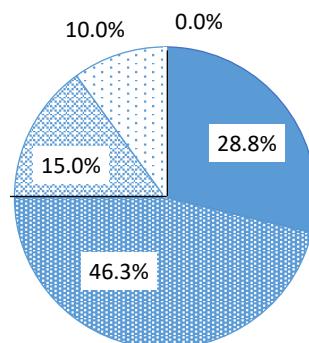
■就寝開始時刻の安定 子

- 就寝時間について、「ほぼ同じ時間に寝ている」又は「どちらかといえばそうだ」と回答した割合は、小学5年生が67.5%、中学2年生が75.1%と中学生の方が高くなっている。

(小学5年生) n=169



(中学2年生) n=160



■ そうである
■ どちらかといえばそうである
■ どちらかといえばそうではない
□ そうではない
□ 不明・無回答

■ そうである
■ どちらかといえばそうである
■ どちらかといえばそうではない
□ そうではない
■ 不明・無回答

■逆境経験の有無

子

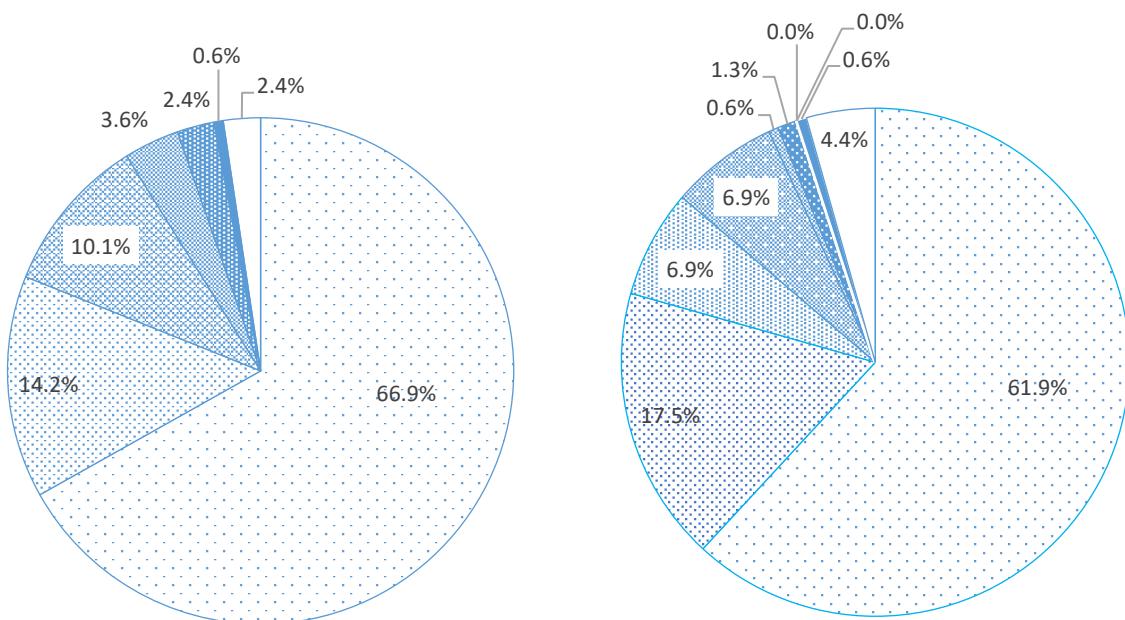
- あてはまる逆境経験がない「0」の子どもは小学5年生66.9%、中学2年生61.9%となっている。
- 「1」が小学5年生14.2%、中学2年生17.5%、「2」～「8」までが全体の1割弱となっており、経験数が最も多かったのは、小学5年生で「6つ」、中学2年生で「8つ」となっている。

- a 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- b 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
- c 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある
- d 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じことがある
- e 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- f 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- g 一緒に住んでいる人に、お酒を飲んだり麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
- h 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる

①上記a～hのような経験の有無（あてはまる個数）

(小学5年生) n=169

(中学2年生) n=160



□0 ■1 ▲2 ▨3 ▨4 ■6 □不明・無回答

□0 ■1 ▲2 ▨3 ▨4 ■5 ■6 ■7 ■8 □不明・無回答

【保護者の関わり】

(子どもが通っていた教育・保育施設等)

- ・ 0~2 歳の間は、「認可保育所・認定こども園」に通っていた子どもが約 5 割で、「親や親族が面倒を見ていた」が約 4 割となっており、3~5 歳の間は、「認可保育所・認定こども園」に通っていた子どもが約 9 割となっていることから、保護者の共働き等により教育・保育施設へ預ける世帯が多いことが伺える。

(子どもとの関わり方)

- ・ 家庭内でのルールを決めている親子や触れ合う時間がとれている親子は、6~8 割となっている。子どもが小さい頃、絵本の読み聞かせをしていた親子は約 8 割であり、子どもが大きくなるにつれ触れ合う時間が減ってはきているものの、半数以上で子どもとの関わりがもてていることが伺える。

(学校行事等への参加)

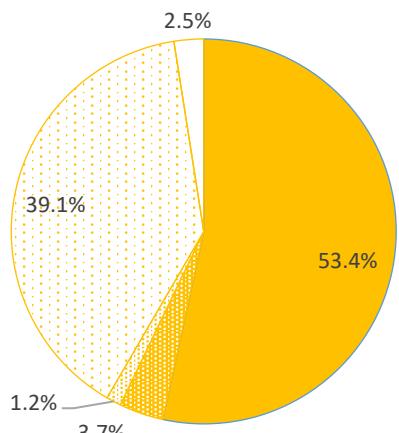
- ・ 授業参観や運動会に比べて PTA 活動や保護者会等は参加率が低くなっているが、まったく参加していない親は極少数であることから、学校が子ども・学校・保護者が繋がる場になっていることが伺える。

■こどもが通っていた教育・保育施設等

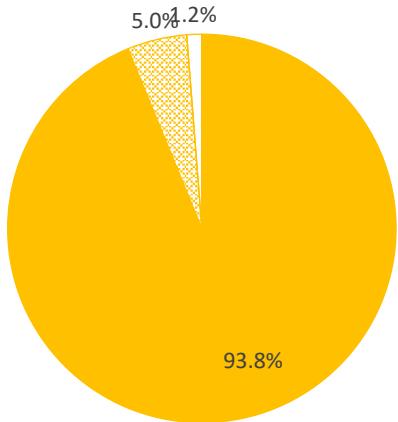
親

- ・0~2歳の53.4%が「認可保育所・認定こども園」に通っており、次いで「親や家族が面倒をみていく」が39.1%となっている。
- ・3~8歳の93.8%が「認可保育所・認定こども園」に通っており、次いで「その他の教育・保育等の施設」が5.0%となっている。

(0~2歳) n=161



(3~5歳) n=161

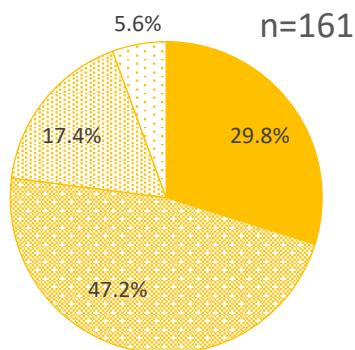


■こどもとの関わり方

親

a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている

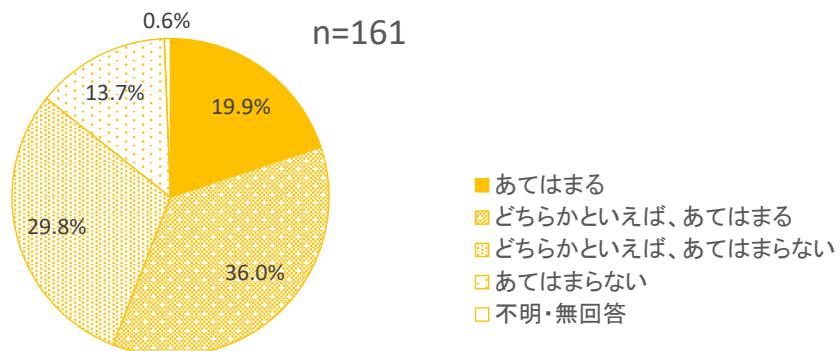
- ・「決めている・どちらかといえば決めている」が77%、「どちらかといえば決めていない・決めていない」が23%となっている。



- あてはまる
- どちらかといえば、あてはまる
- どちらかといえば、あてはまらない
- あてはまらない

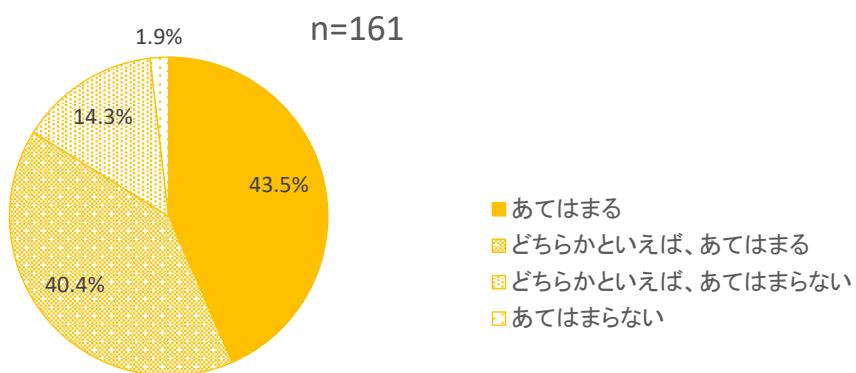
b) こどもに本や新聞を読むように勧めている

- 「勧めている・どちらかといえば勧めている」が 55.9%、「勧めていない・どちらかといえば勧めていない」が 43.5%となっている。



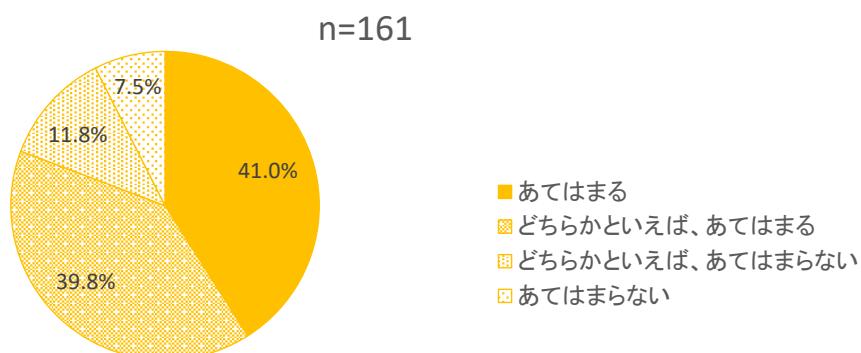
c) こどもが小さい頃、絵本の読み聞かせをしていた

- 「していた・どちらかといえばしていた」が 83.9%、「していない・どちらかといえばしていない」が 16.2%となっている。



d) こどもから勉強や成績のことについて話してくれる

- 「話をしてくれる・どちらかといえば話をしてくれる」が 80.8%、「話をしてくれない・どちらかといえば話をてくれない」が 19.3%となっている。

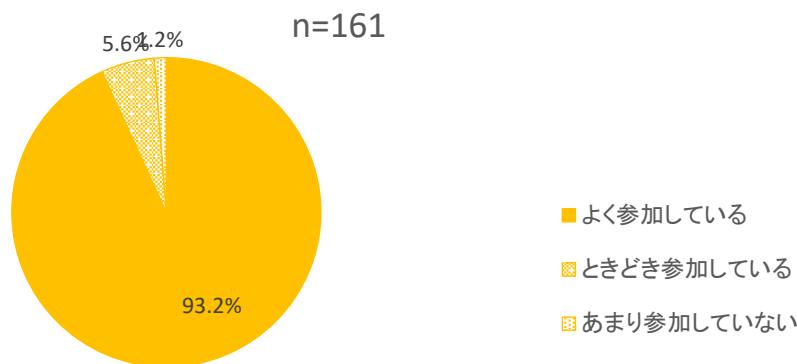


■学校行事等への参加

a) 授業参観や運動会など

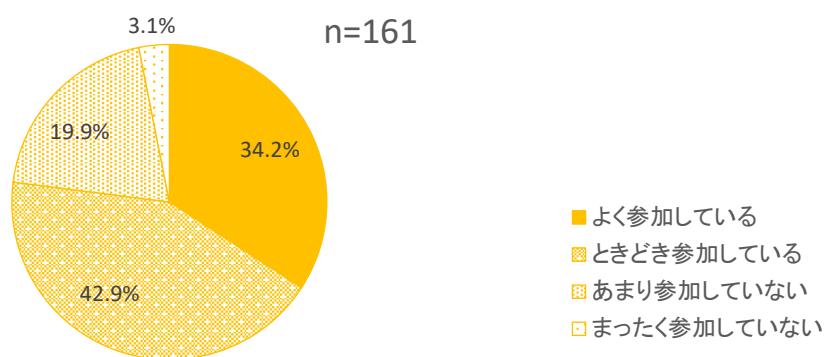
親

- ・「よく参加している」が 93.2%、次いで「ときどき参加している」が 5.6% となっている。



b) PTA 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなど

- ・「よく参加している」が 34.2%、次いで「ときどき参加している」が 42.9% となっている。



【子どもの学習状況・将来の進学】

(学校の授業以外における勉強の有無・勉強時間と理解度)

- ・授業以外の勉強は、「自分で勉強する」が約8割、「家人の人や友達と勉強する」が約7割となっており、「塾で勉強する」割合は、小学5年生が約1割、中学2年生が約2割となっている。
- ・授業以外の勉強時間は、小中学生共に月～金、土日祝どちらも「30分以上、1時間より少ない」と「1時間以上2時間より少ない」が6～7割となっている。
- ・授業以外の勉強と勉強時間は、授業の理解度にさほど影響は見られなかったが、小学5年生より中学2年生の理解度が低くなっている。

(進路の希望・理由)

- ・保護者とともに共に希望する進学先は、「大学まで」が最も多い。
- ・子どもが進学先を選択した理由は、「希望する学校や職業があるから」が最も多い。また、「親がそう言っているから・家にお金がないと思うから・早く働く必要があるから」といった自分の意思ではない理由が約3割、保護者の理由に「家族の経済的な状況から考えて」が約1割あった。

(スポーツクラブや文化クラブの参加・理由)

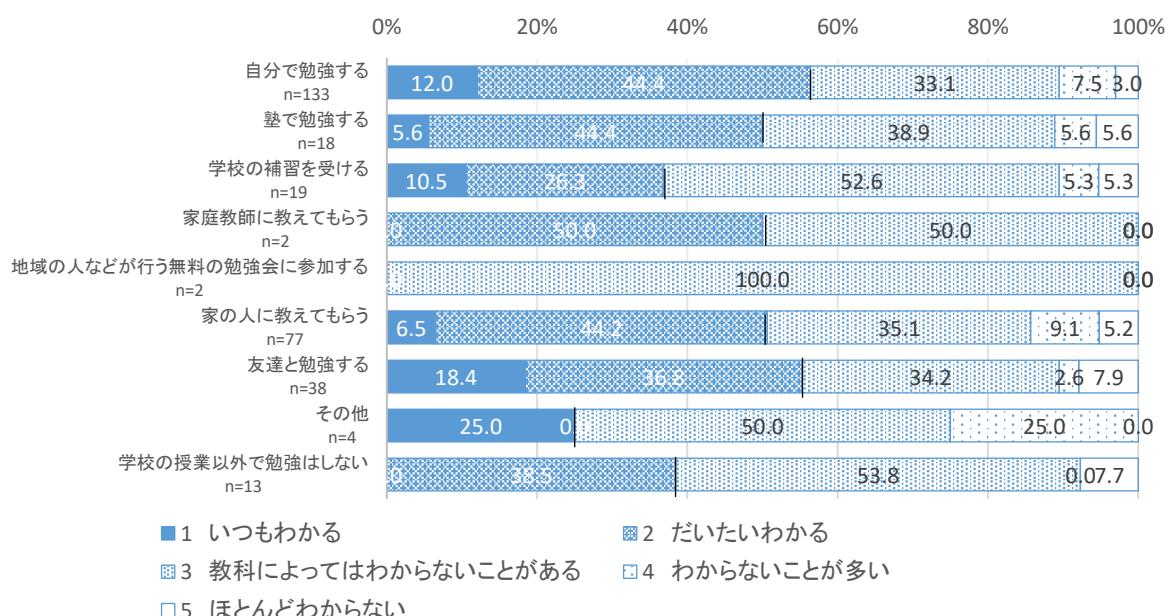
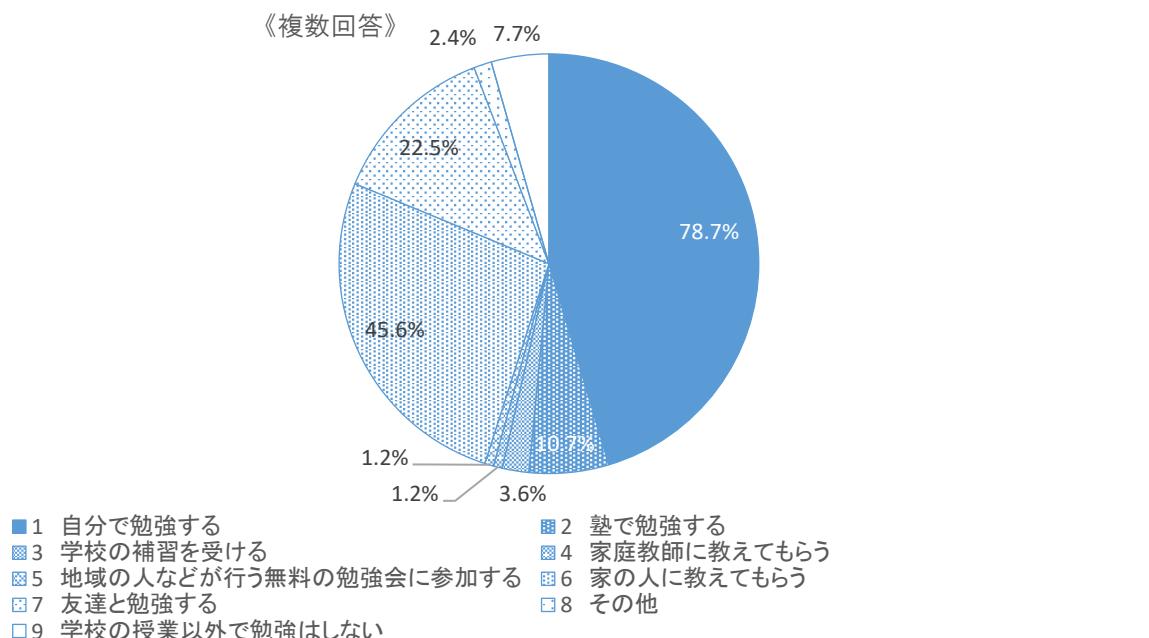
- ・スポーツクラブ等に参加していない子どもの理由として、「入りたいクラブがない・塾や習い事が忙しい」といった自分の意思や実情による理由が多かったものの、「家の事情(家族の世話、家事など)があるから・費用がかかるから」といった家庭の事情や経済的理由が約3割あった。

■学校の授業以外における勉強の有無と理解度

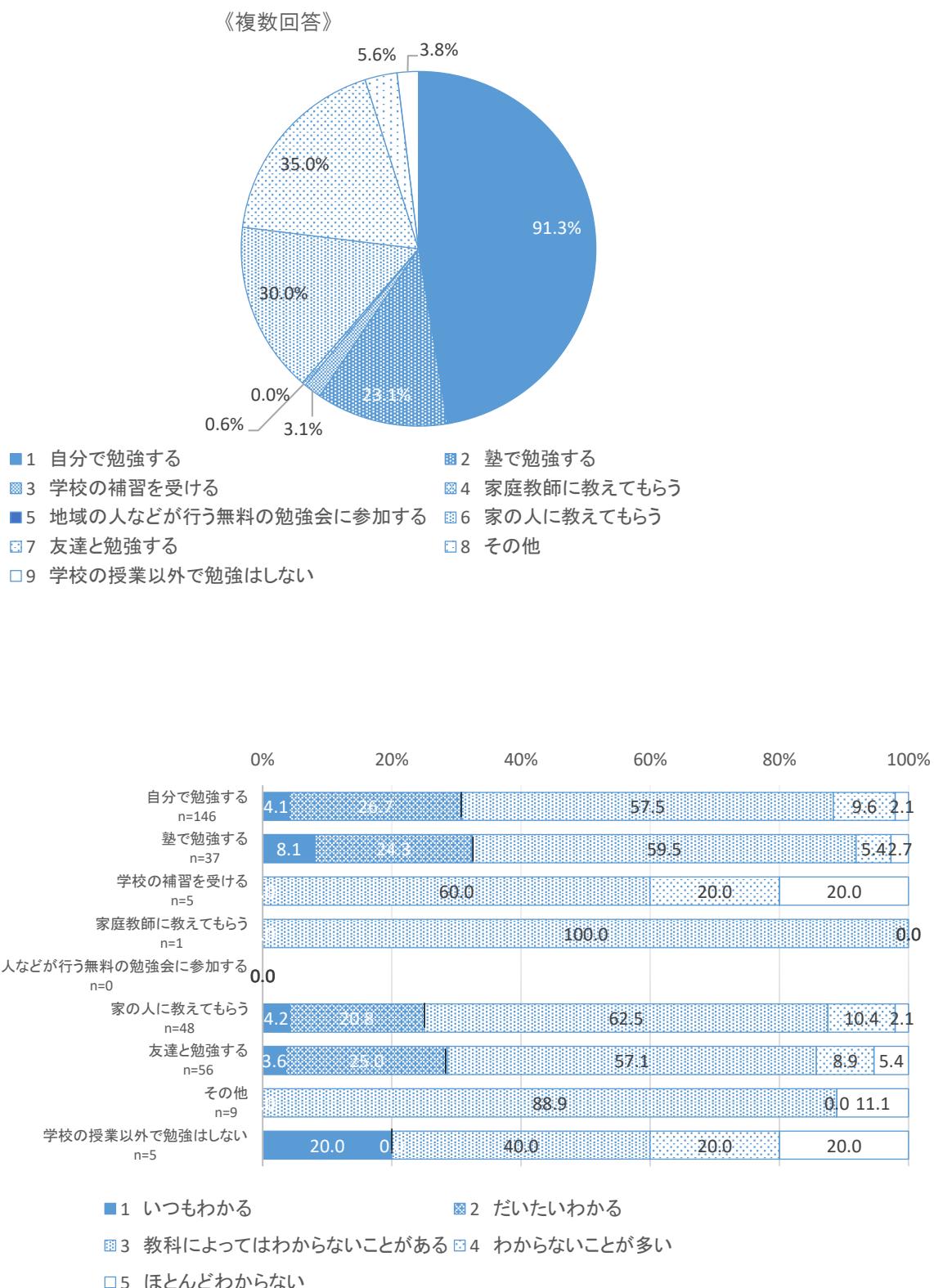
子

- 授業以外の勉強は、「自分で勉強する」割合が最も高く、小学5年生78.7%、中学2年生91.3%となっており、「家の人々に教えてもらう」が小学5年生45.6%、中学2年生30.0%、「友達と一緒に勉強する」が小学5年生22.5%、中学2年生35.0%となっている。
- 授業の理解度は、小学5年生はどの勉強方法においても「いつもわかる・だいたいわかる」割合が高く、特に高いのは「自分で勉強する」の56.4%、次いで「友達と一緒に勉強する」の55.2%となっている。
- 中学2年生は「いつもわかる・だいたいわかる」割合が全体的に低くなっている、「教科によってはわからないことがある」割合が高くなっている。理解度が高いのは「塾で勉強する」の32.4%、次いで「自分で勉強する」の30.8%となっている。

(小学5年生) n=169



(中学2年生) n=160



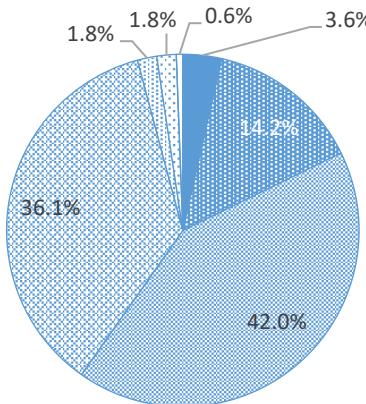
■学校の授業以外の勉強時間と理解度

子

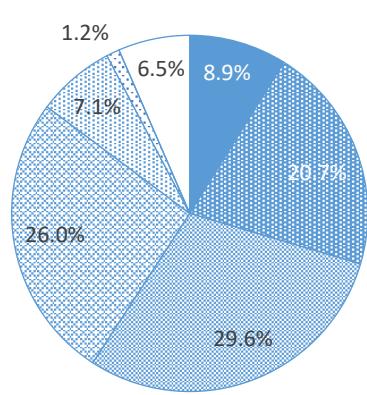
- ・ 小学 5 年生では「30 分以上 1 時間より少ない」が月～金 42.0%、土日祝 29.6% と最も高く、次いで「1 時間以上 2 時間より少ない」が月～金 36.1%、土日祝 26.0% となっている。
- ・ 中学 2 年生では「1 時間以上、2 時間より少ない」が月～金 36.3%、土日祝 29.4% と最も高く、次いで「30 分以上、1 時間より少ない」が月～金 33.1%、土日祝 27.5% となっている。
- ・ 小学 5 年生では、勉強時間が月～金「2 時間以上 3 時間より少ない」「3 時間以上」の理解度は高くなっているが、中学 2 年生の理解度はどの勉強時間帯でもさほど差はみられない。

(小学 5 年生) n=169

a)学校がある日 (月～金)



b)学校がない日 (土日祝)



■まったくしない

■30分より少ない

■30分以上、1時間より少ない

■1時間以上、2時間より少ない

■2時間以上、3時間より少ない

■3時間以上

□不明・無回答

■まったくしない

■30分より少ない

■30分以上、1時間より少ない

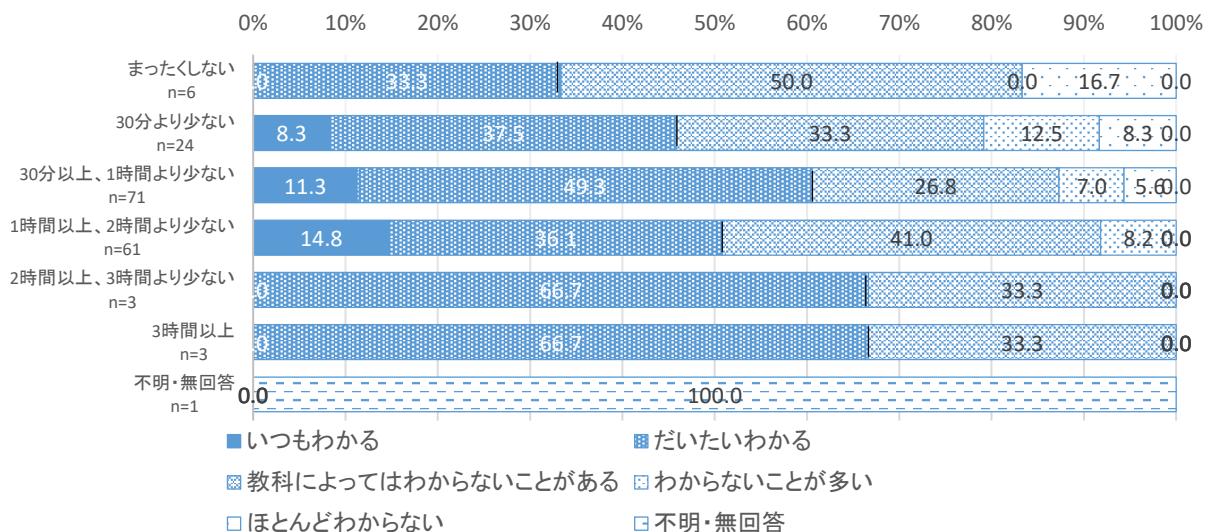
■1時間以上、2時間より少ない

■2時間以上、3時間より少ない

■3時間以上

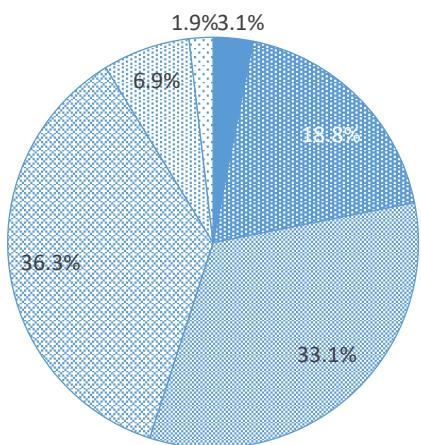
□不明・無回答

学校がある日 (月～金)

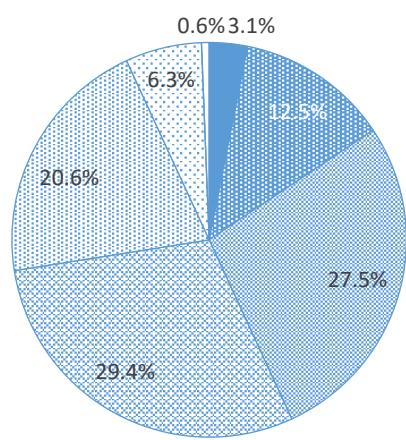


(中学2年生) n=160

a)学校がある日(月～金)



b)学校がない日(土日祝)



■まったくしない

■30分より少ない

■30分以上、1時間より少ない

■1時間以上、2時間より少ない

■2時間以上、3時間より少ない

■3時間以上

■まったくしない

■30分より少ない

■30分以上、1時間より少ない

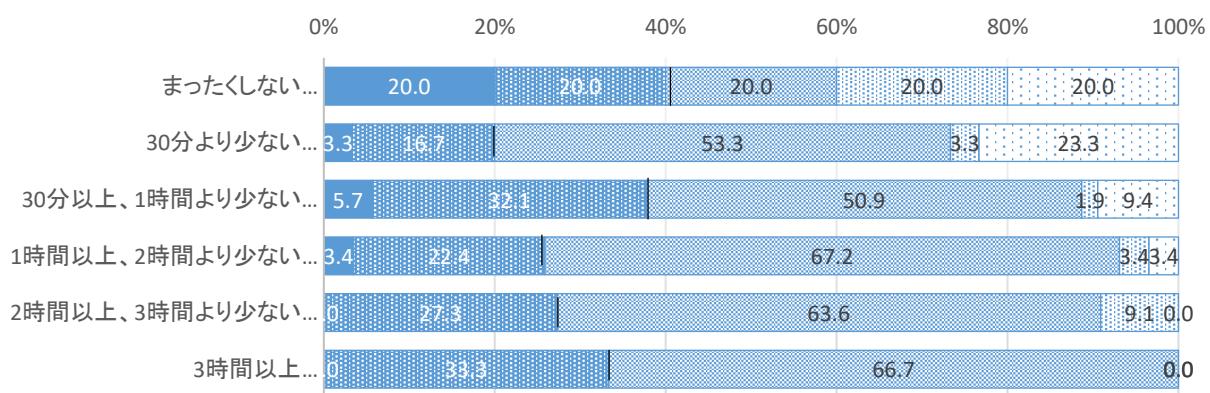
■1時間以上、2時間より少ない

■2時間以上、3時間より少ない

■3時間以上

□不明・無回答

学校がある日(月～金)



■いつもわかる

■教科によってはわからないことがある

□わからないことが多い

■だいたいわかる

■ほとんどわからない

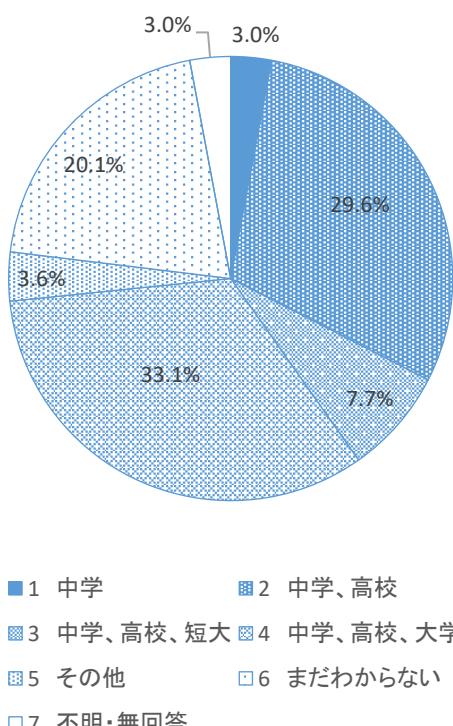
■進路の希望・理由

①こどもの進路の希望

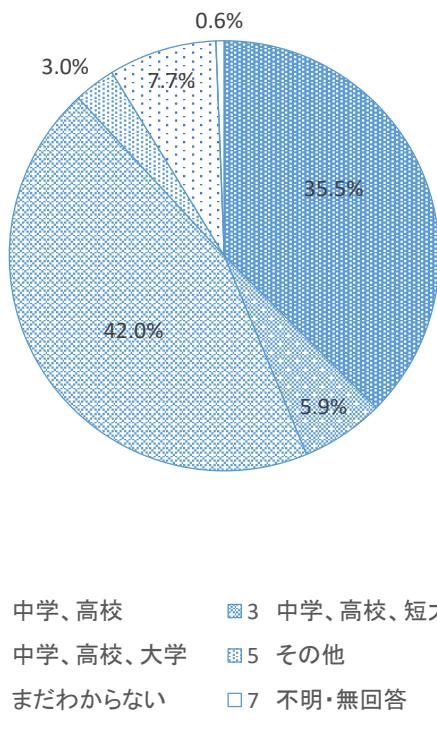
子

- 「大学までの進学」を希望する割合が小学5年生33.1%、中学2年生42.0%と最も高く、次いで「高校までの進学」が小学5年生29.6%、中学2年生35.5%となっている。

(小学5年生) n=169



(中学2年生) n=160

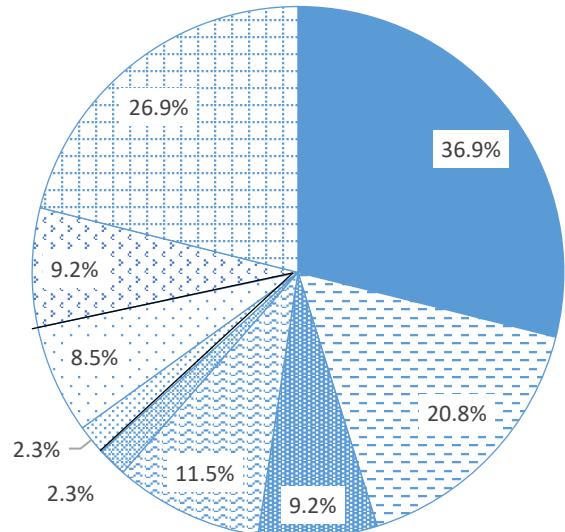


②こどもの理由

子

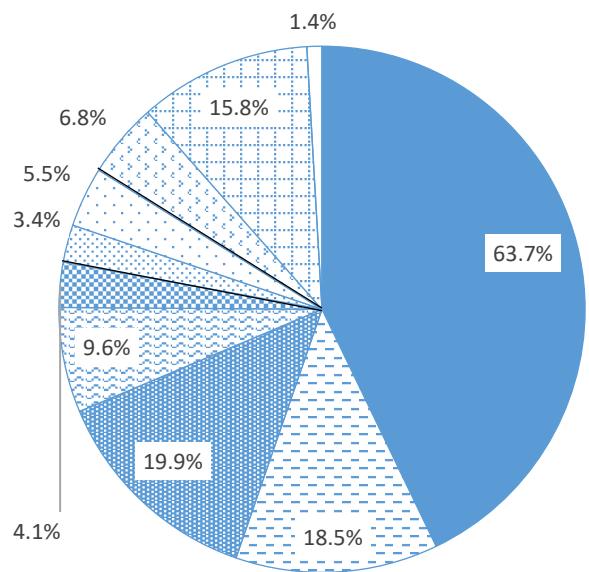
- 進路を希望した理由は、「希望する学校や職業があるから」が小学5年生 36.9%、中学2年生 63.7%が最も高く、次いで小学5年生は「特に理由はない」が 26.9%、「自分の成績から考えて」が 20.8%となっており、中学2年生は「親がそう言っているから」が 19.9%、「自分の成績から考えて」が 18.5%となっている。
- 「家にお金がないと思うから」「早く働く必要があるから」と回答した割合は、小学5年生が 10.8%、中学2年生が 8.9%となっている。

(小学 5 年生) n=130



- 1 希望する学校や職業があるから
- 2 自分の成績から考えて
- 3 親がそう言っているから
- 4 兄・姉がそうしているから
- 5 まわりの先輩や友達がそうしているから
- 6 家にお金がないと思うから
- 7 早く働く必要があるから
- 8 その他
- 9 とくに理由はない

(中学 2 年生) n=146



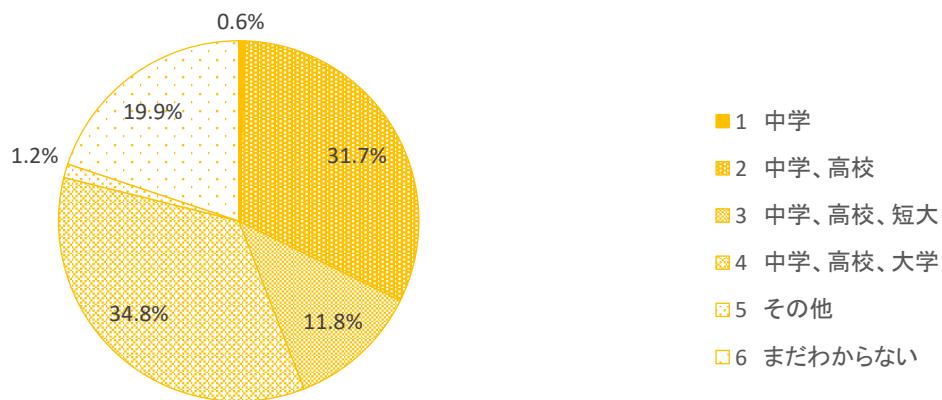
- 1 希望する学校や職業があるから
- 2 自分の成績から考えて
- 3 親がそう言っているから
- 4 兄・姉がそうしているから
- 5 まわりの先輩や友達がそうしているから
- 6 家にお金がないと思うから
- 7 早く働く必要があるから
- 8 その他
- 9 とくに理由はない
- 10 不明・無回答

③保護者の進路の希望

親

- ・「大学までの進学」が34.8%、「高校までの進学」が31.7%となっている。

(全体) n=161

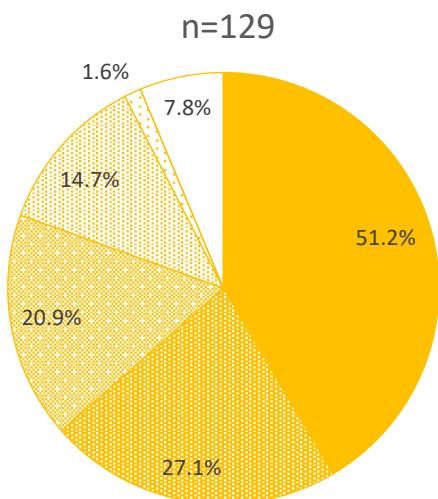


④保護者の理由

親

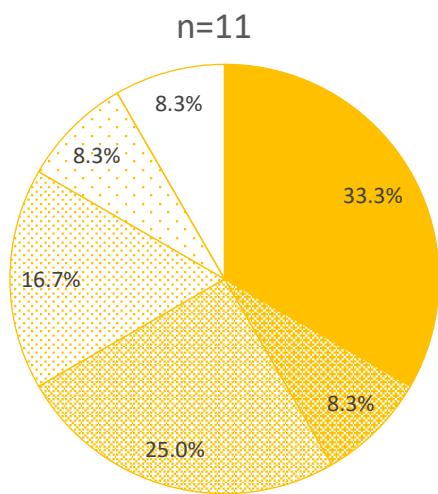
- ・全体では、「こどもがそう希望しているから」が51.2%と高く、「家族の経済的な状況から考えて」が14.7%となっている。
- ・ひとり親世帯では、「こどもがそう希望しているから」が33.3%と高く、「家族の経済的な状況から考えて」が16.7%となっている。

(全体)



- 1 お子さんがそう希望しているから
- 2 一般的な進路だと思うから
- 3 お子さんの学力から考えて
- 4 家族の経済的な状況から考えて
- 5 その他
- 6 特に理由はない

(ひとり親世帯)



- 1 お子さんがそう希望しているから
- 2 一般的な進路だと思うから
- 3 お子さんの学力から考えて
- 4 家族の経済的な状況から考えて
- 5 その他
- 6 特に理由はない

■スポーツクラブや文化クラブの参加・理由

子

(小学 5 年生)

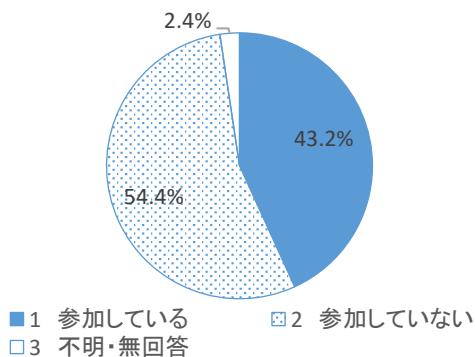
- ・「参加している」が 43.2%、「参加していない」が 54.4% となっている。
- ・参加していない理由は、「入りたいクラブがないから」が 34.8%、次いで「その他」が 25.0%、「家の事情(家族の世話、家事など)があるから」が 21.7%、「塾や習い事が忙しいから」20.7% となっており、「費用がかかるから」が 5.4% となっている。

(中学 2 年生)

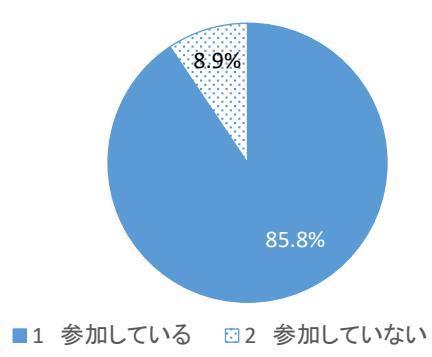
- ・「参加している」が 85.8%、「参加していない」8.9% となっている。
- ・参加していない理由は、「入りたいクラブがないから」が 40.0% と最も高くなっている、次いで「その他」が 26.7%、「塾や習い事が忙しいから」20.0% となっており、「費用がかかるから」と「家の事情(家族の世話、家事など)があるから」がどちらも 13.3% となっている。

①参加の有無

(小学 5 年生) n=169

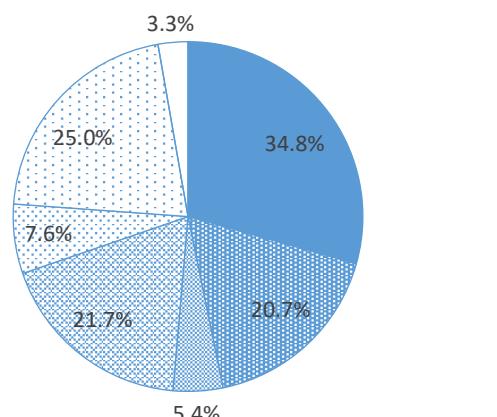


(中学 2 年生) n=160



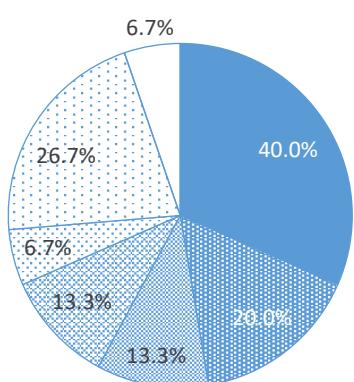
②参加していない理由

(小学 5 年生) n=92 《複数回答》



- 1 入りたいクラブがないから
- 2 塾や習い事が忙しいから
- 3 費用がかかるから
- 4 家の事情(家族の世話、家事など)があるから
- 5 一緒にいる友達がいないから
- 6 その他
- 7 不明・無回答

(中学 2 年生) n=15 《複数回答》



- 1 入りたいクラブがないから
- 2 塾や習い事が忙しいから
- 3 費用がかかるから
- 4 家の事情(家族の世話、家事など)があるから
- 5 と一緒にいる友達がいないから
- 6 その他
- 7 不明・無回答

【頼れる相手・気持ちの状態】

(困りごとや悩みごとの相談相手)

- ・ 子どもの相談相手は、「親」が小学5年生の約7割、中学2年生の約6割となっており、小中学生共に「学校の友達」が約6割、「学校の先生」が約3割となっている一方で、「誰にも相談できない、相談したくない」が約1割となっている。
- ・ 「子育てに関する相談」と「重要な事柄の相談」に関しては、保護者の約9割が「頼れる相談相手がいる」と回答しており、相談相手は、「家族・親族」が最も多い一方で、頼る人が「いない・頼らない」が約1割となっている。

(気持ちの状態)

- ・ 子どもの気持ちの状態は、約半数が気持ちに余裕がなく、また孤立しがちであり、自分に自信がなく自己肯定感が低い傾向が見られる。
- ・ 親の気持ちの状態は、「何をするのも面倒だ」と少しでも感じたことがある割合が約7割と最も高く、次いで「神経過敏に感じた」が約6割、その他の項目においても3~5割に気持ちが不安定になっている保護者が見られる。

■困りごとや悩みごとの相談相手

- ・小学5年生の相談相手は、「親」が 70.4%と最も高く、次いで「学校の友達」が 53.8%、「学校の先生」が 36.7%となっている。
- ・中学2年生の相談相手は、「学校の友達」65.6%と最も高く、次いで「親」が 58.1%、「学校の先生」が 22.5%となっている。
- ・一方で「誰にも相談できない、相談したくない」が小学5年生で 10.7%、中学2年生で 14.4%となっている。

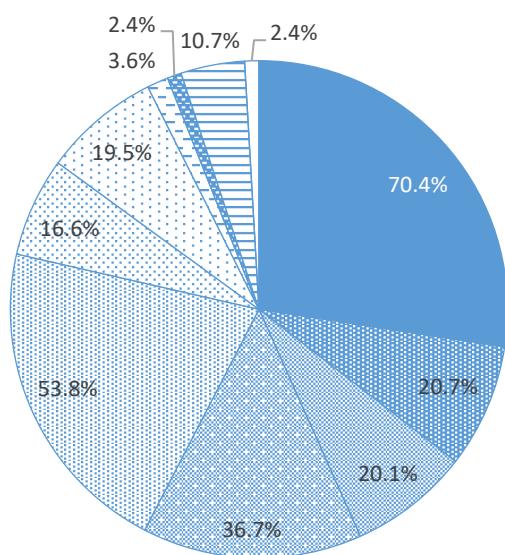
①子どもの相談相手

(小学 5 年生) n=169

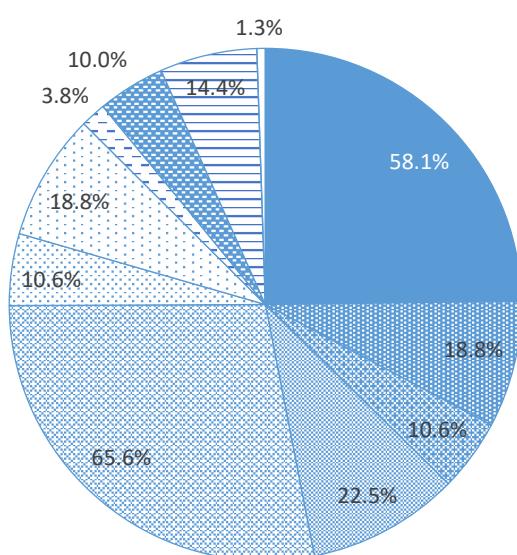
子

(中学 2 年生) n=160

《複数回答》



《複数回答》



■ 1 親

■ 2 学校の友達

■ 3 学校の先生

■ 4 学校外の友達

■ 5 その他の大人(学童保育所の人、塾・習い事の先生、地域の人など)

■ 6 ネットで知り合った人

□ 7 SC、SSWなど

■ 1 親

■ 2 学校の友達

■ 3 学校の先生

■ 4 学校外の友達

■ 5 その他の大人(学童保育所の人、塾・習い事の先生、地域の人など)

■ 6 ネットで知り合った人

□ 7 SC、SSWなど

□ 8 だれにも相談できない、相談したくない
□ 9 不明・無回答

□ 10 だれにも相談できない、相談したくない

□ 11 不明・無回答

②保護者の相談相手

親

(子育てに関する相談)

- 「頼れる人がいる」が 87.0%、「いない」が 7.5%、「人に頼らない」が 5.0%となっており、相談相手は「家族・親族」が 90.7%と最も高く、次いで「友人・知人」57.9%、「職場の人」32.9%となっている。

(重要な事柄の相談)

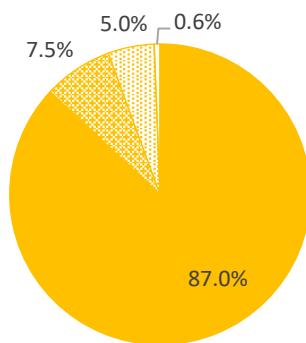
- 「頼れる人がいる」が 85.7%、「いない」が 8.7%、「人に頼らない」が 5.0%となっており、相談相手は「家族・親族」が 94.9%と最も高く、次いで「友人・知人」40.6%、「職場の人」14.5%となっている。

(いざという時のお金の援助)

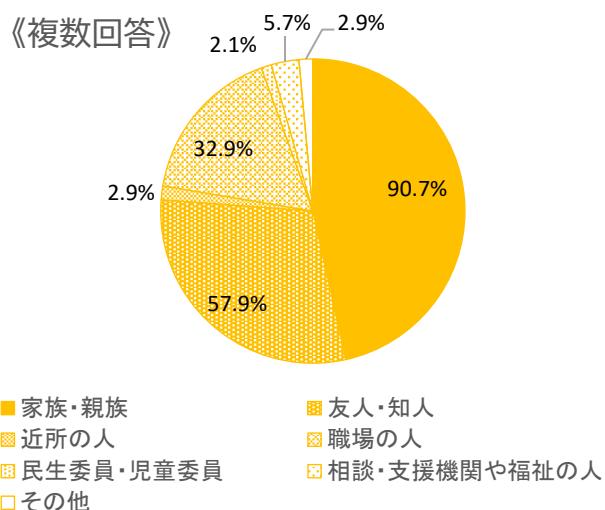
- 「頼れる人がいる」が 55.9%、「いない」が 20.5%、「人に頼らない」が 23.0%となっており、相談相手は「家族・親族」が 97.8%となっている。

a) 子育てに関する相談

(全体) n=161

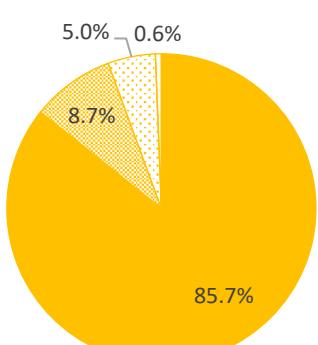


(相談相手) n=140

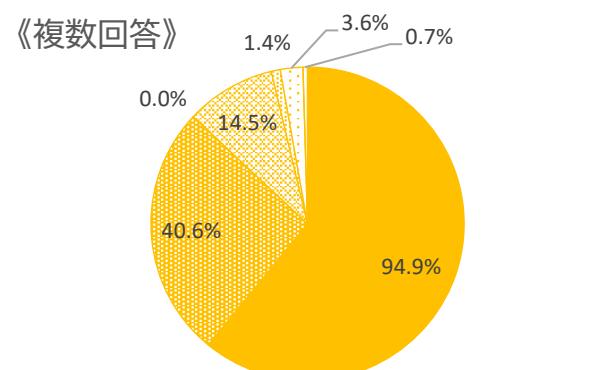


b) 重要な事柄の相談

(全体) n=161

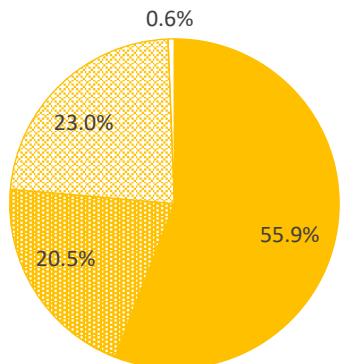


(相談相手) n=138



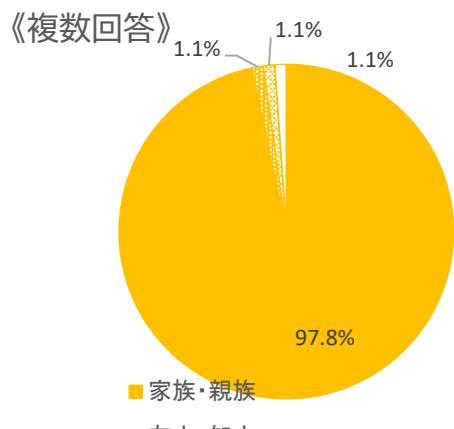
c) いざという時のお金の援助

(全体) n=161



- 賴れる人がいる
- いない
- そのことでは人に頼らない
- 不明・無回答

(相談相手) n=91



- 家族・親族
- 友人・知人
- 相談・支援機関や福祉の人
- その他

■気持ちの状態

① こどもの気持ち (ここ半年くらい)

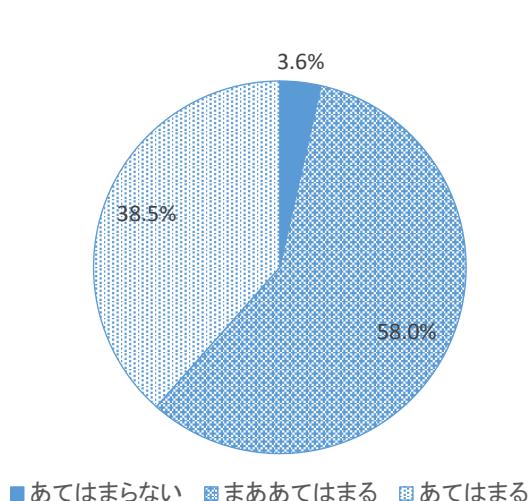
子

- ・「お腹が痛くなったり、気持ちが悪くなったりする」、「心配ごとが多く、いつも不安だ」、「落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりする」、「新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい」、「ほかの子どもより大人といの方がうまくいく」、「こわがりで、すぐにおびえたりする」といった事柄に「あてはまる」「まああてはまる」と回答した割合がそれぞれ約5割と高くなっている。

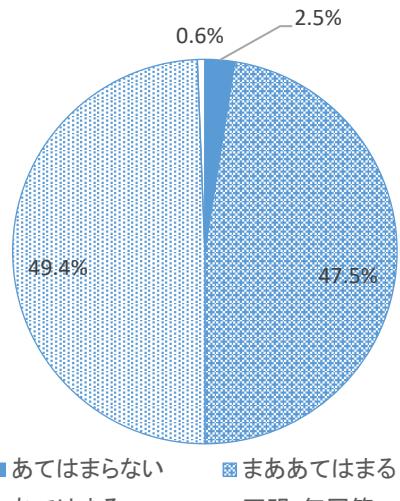
a) 私は、他人の気持ちをよく考え、親切にするようにしている。

(小学5年生) n=169

(中学2年生) n=160



- あてはまらない
- まああてはまる
- あてはまる

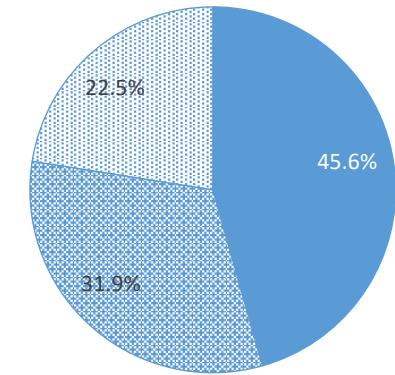
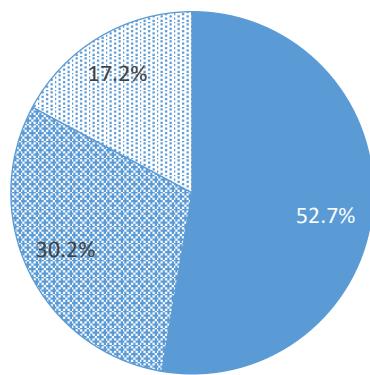


- あてはまらない
- まああてはまる
- あてはまる
- 不明・無回答

b) 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。

(小学 5 年生) n=169

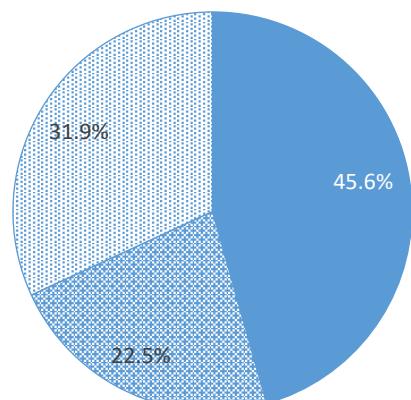
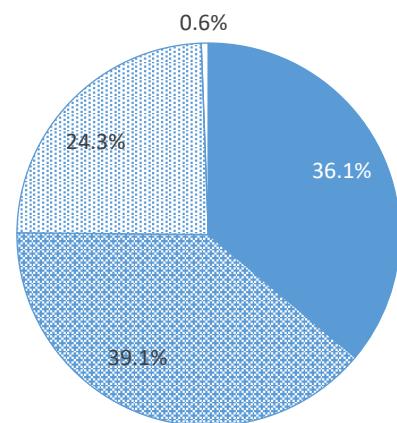
(中学 2 年生) n=160



c) 私は、自分の食べ物やゲーム、ペンなどを他の子供たちとよく分け合う。

(小学 5 年生) n=169

(中学 2 年生) n=160

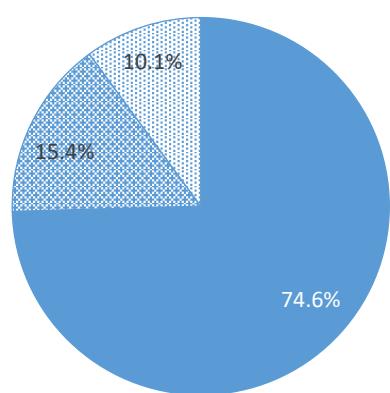


■あてはまらない ■まああてはまる
■あてはまる □不明・無回答

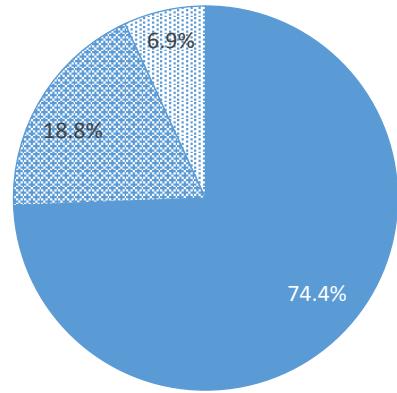
■あてはまらない ■まああてはまる ■あてはまる

d) 私は、たいてい一人でいる。だいたいいつも一人で遊ぶか人と付き合うことを避ける。

(小学 5 年生) n=169

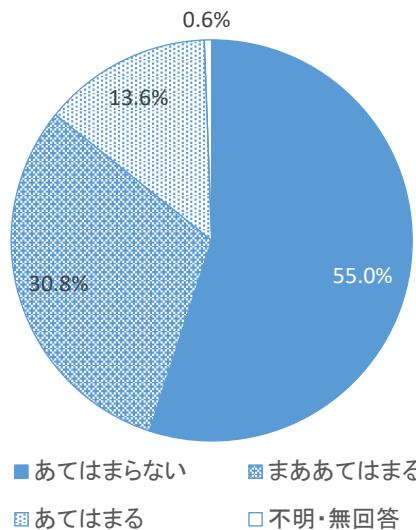


(中学 2 年生) n=160

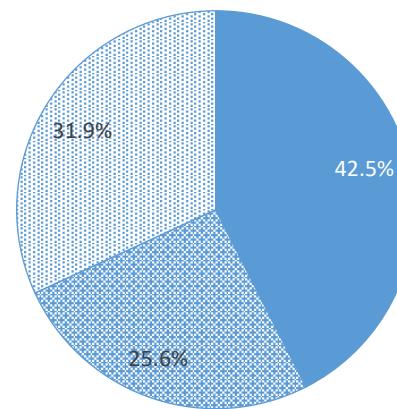


e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。

(小学 5 年生) n=169



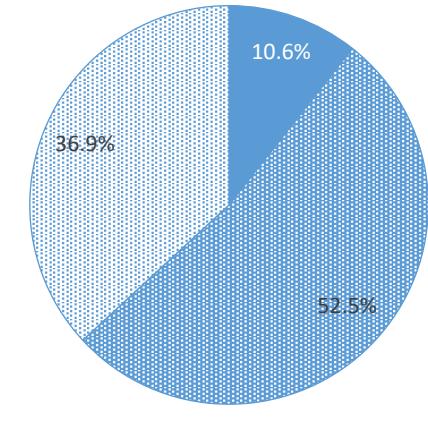
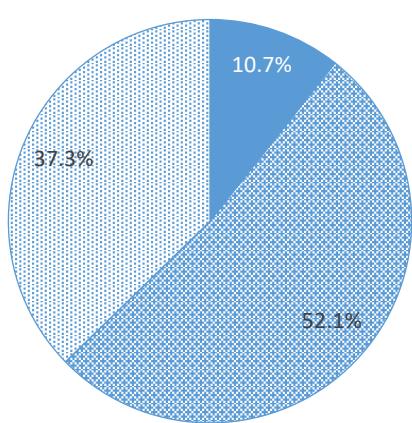
(中学 2 年生) n=160



f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。

(小学 5 年生) n=169

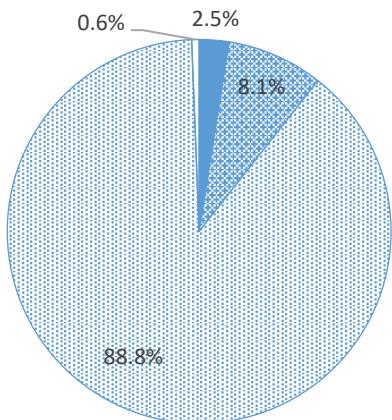
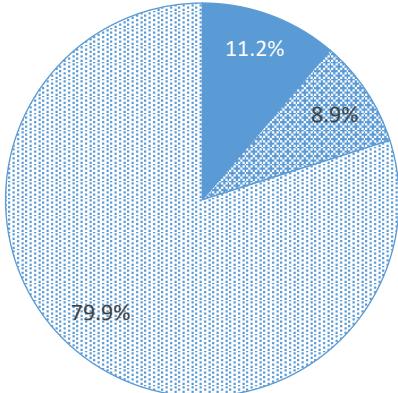
(中学 2 年生) n=160



g) 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。

(小学 5 年生) n=169

(中学 2 年生) n=160



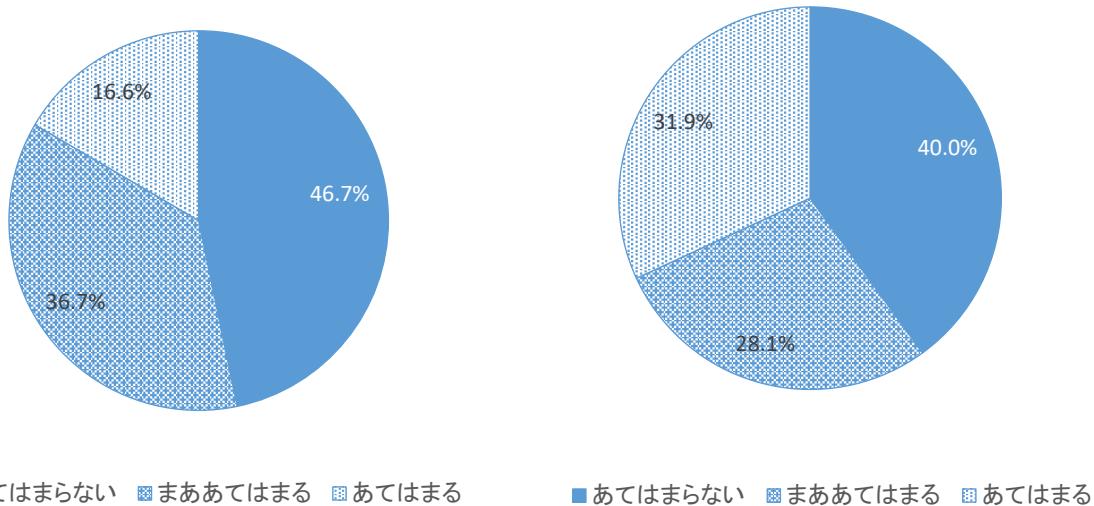
■あてはまらない ■まああてはまる ■あてはまる

■あてはまらない ■まああてはまる
■あてはまる □不明・無回答

h) 私は、落ち込んでしづんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。

(小学 5 年生) n=169

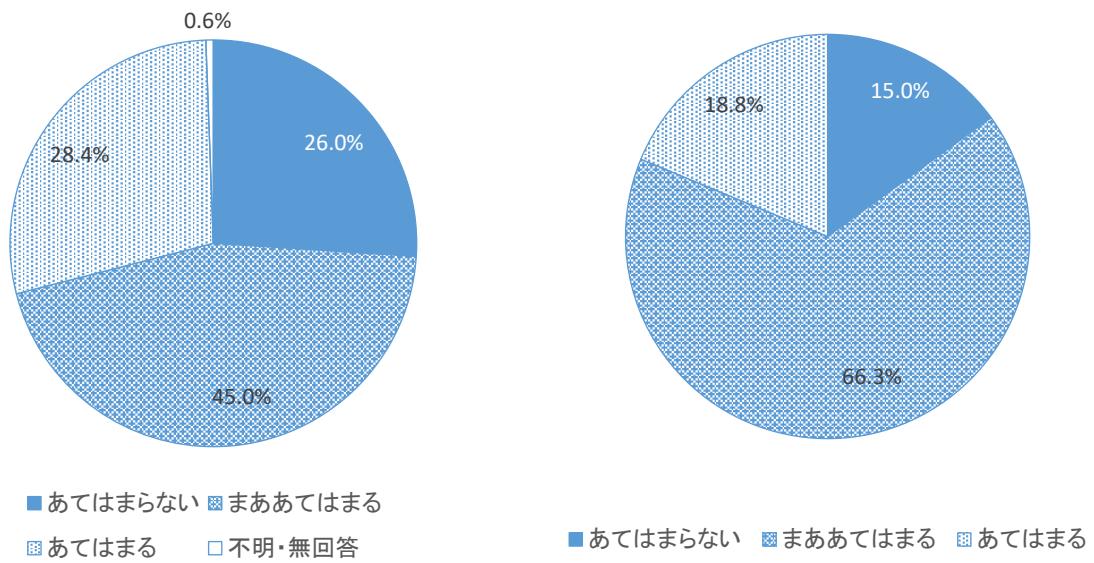
(中学 2 年生) n=160



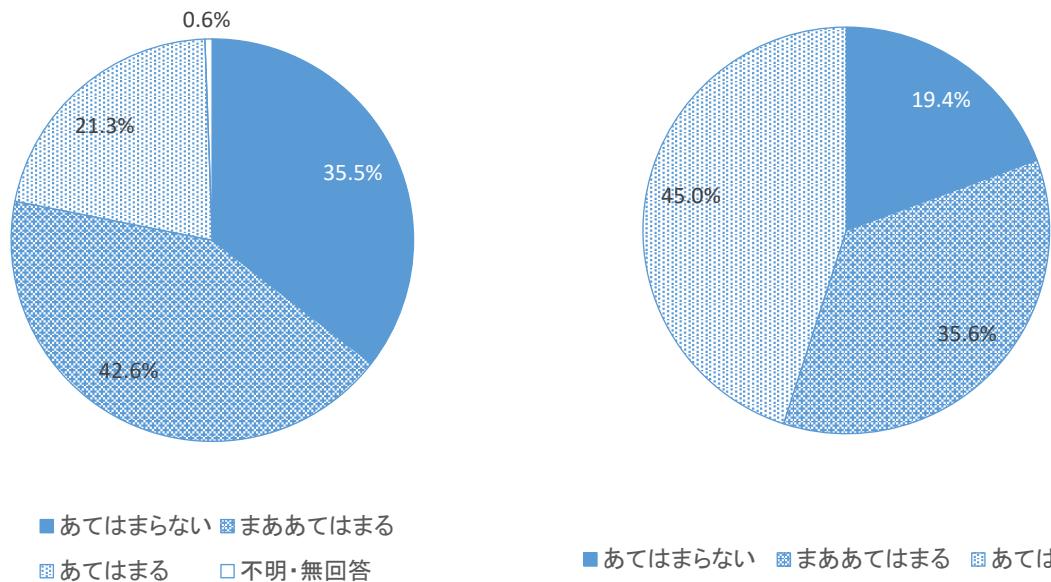
i) 私は、同じくらいいの年齢の子供からは、だいたいは好かれている。

(小学 5 年生) n=169

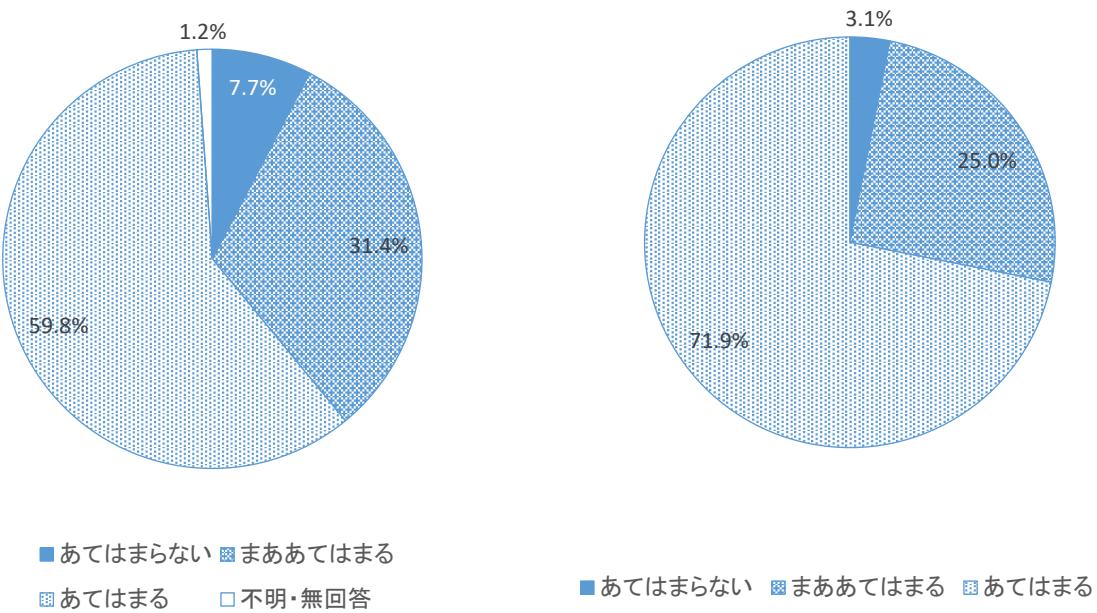
(中学 2 年生) n=160



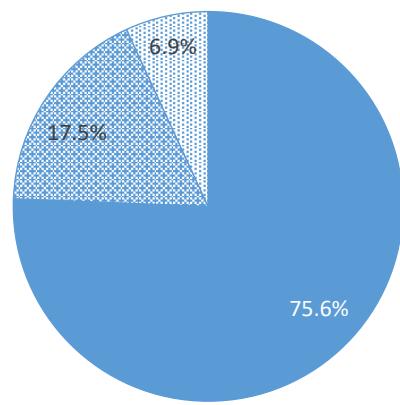
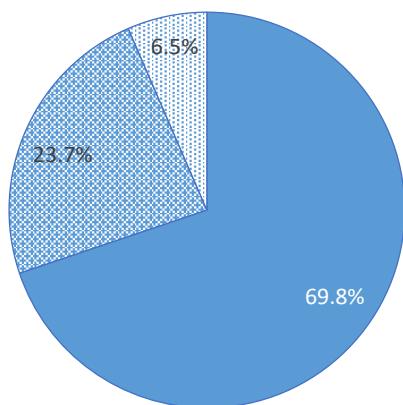
j) 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。
(小学 5 年生) n=169
(中学 2 年生) n=160



k) 私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。
(小学 5 年生) n=169
(中学 2 年生) n=160



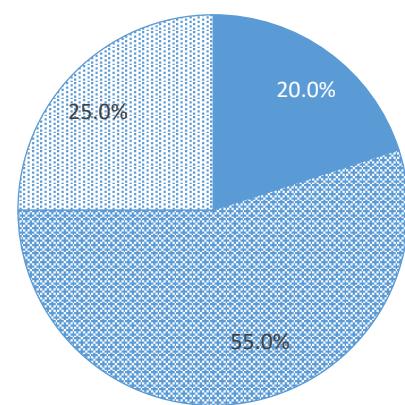
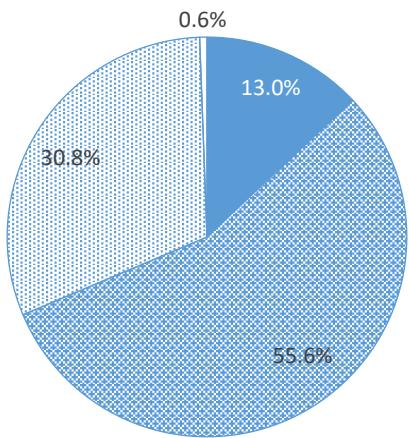
I) 私は、他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする。
(小学 5 年生) n=169 (中学 2 年生) n=16



■あてはまらない ■まああてはまる ■あてはまる

■ あてはまらない ■ まああてはまる ■ あてはまる

m) 私は、自分からすすんで、親や先生、他の子供たちなどのお手伝いをよくする。
(小学 5 年生) n=169 (中学 2 年生) n=160



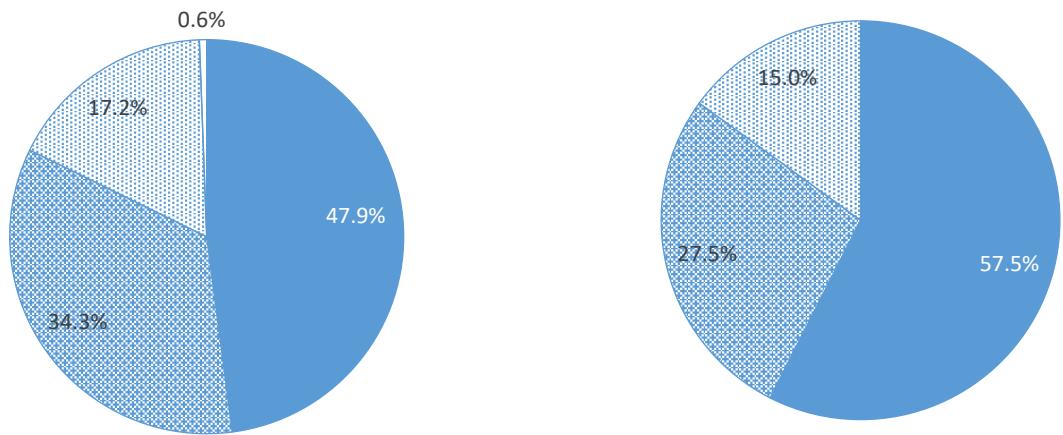
- あてはまらない ■ まああてはまる
- あてはまる □ 不明・無回答

■あてはまらない ■まああてはまる ■あてはまる

n) 私は、他の子供たちより、大人といの方がうまくいく。

(小学 5 年生) n=169

(中学 2 年生) n=160



■あてはまらない ■まああてはまる

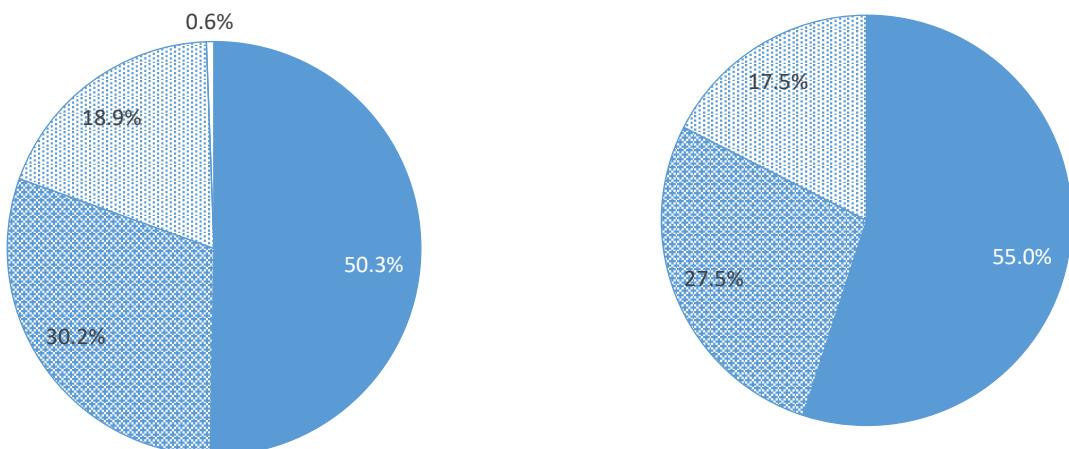
■あてはまる □不明・無回答

■あてはまらない ■まああてはまる ■あてはまる

o) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。

(小学 5 年生) n=169

(中学 2 年生) n=160



■あてはまらない ■まああてはまる

■あてはまる □不明・無回答

■あてはまらない ■まああてはまる ■あてはまる

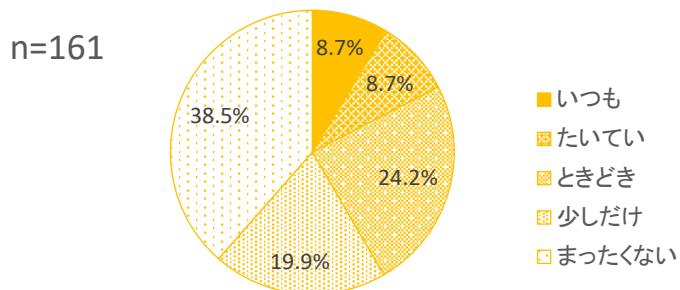
②保護者の気持ち (ここ1か月)

親

- ・「いつも」「たいてい」「ときどき」「少しだけ」を A とし、「まったくない」を B とした場合の割合は、以下のとおりとなっており、A の割合が高い傾向にあるが、「b) 絶望的だと感じた」と「f) 自分は価値のない人間だと感じた」に関しては、B の割合が高くなっている。
- a) 神経過敏に感じた A:61.5%、B:38.5%
- b) 絶望的だと感じた A:38.5%、B:61.5%
- c) そわそわ、落ち着かなく感じた A:51.0%、B:48.4%
- d) 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた A:59.0%、B:41.0%
- e) 何をするのも面倒だと感じた A:70.2%、B:29.8%
- f) 自分は価値のない人間だと感じた A:37.9%、B:62.1%

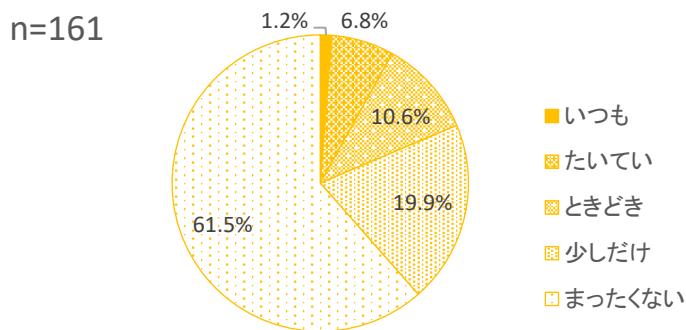
a) 神経過敏に感じた

(全体)



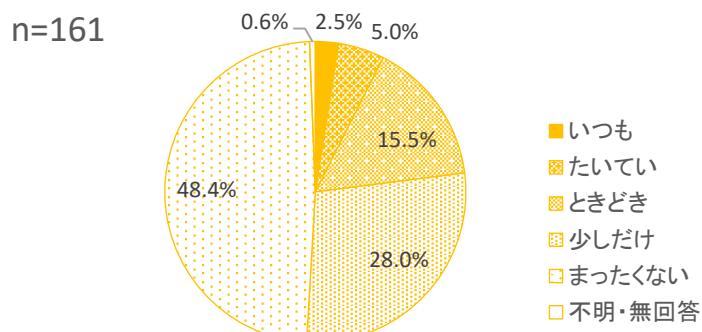
b) 絶望的だと感じた

(全体)



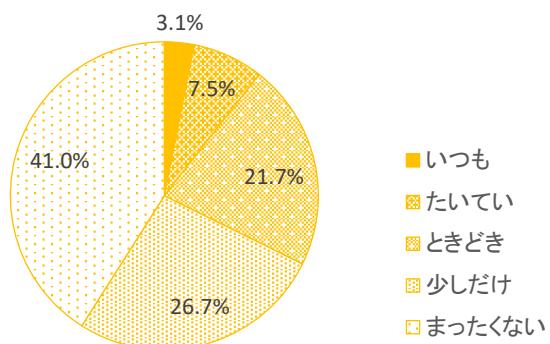
c) そわそわ、落ち着かなく感じた

(全体)



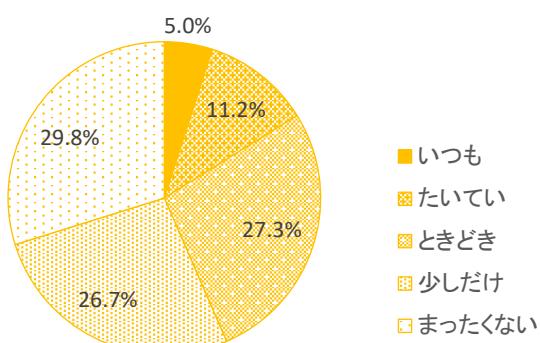
d) 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた
(全体)

n=161



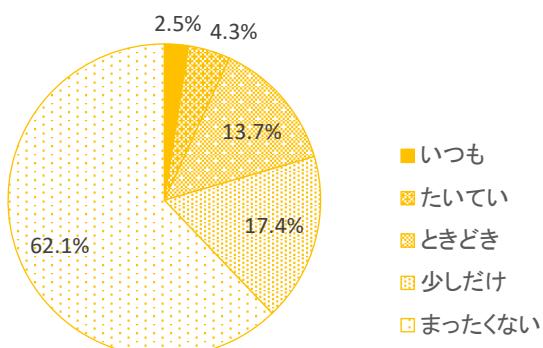
e) 何をするのも面倒だと感じた
(全体)

n=161



f) 自分は価値のない人間だと感じた
(全体)

n=161



【公的制度の利用状況】

- ・保護者もこどもも公的制度の利用率は低く、保護者の回答では「制度の対象外だと思うから」が最も多いが、「利用したいが知らなかった」又は「利用したいが手続が分からなかったり、利用しにくい」という回答も少數あった。
- ・こどもにおいては、「平日の夜や休日を過ごすことができる場所」「夕ご飯を無料か安く食べることができる場所」「勉強を無料でみてくれる場所」「何でも相談できる場所」が「あれば利用したいと思う」と「今後も利用したいと思わない」が共に約3割であった。
- ・今まで利用したことのある子どもの変化としては、「生活の中で楽しみなことが増えた」「気軽に話せる大人が増えた」「友達が増えた」「勉強がわかるようになった」などの成果を挙げる回答があった。

■保護者の利用状況

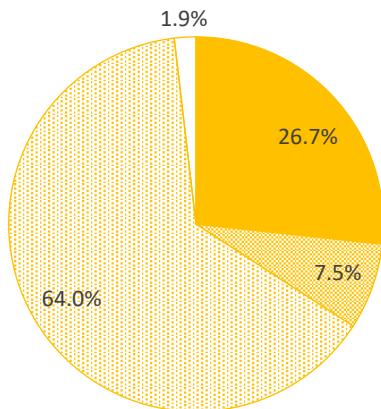
親

- ・どの公的制度も利用したことがない保護者が多く、その理由には「制度の対象外だと思うから」が最も多くなっている。

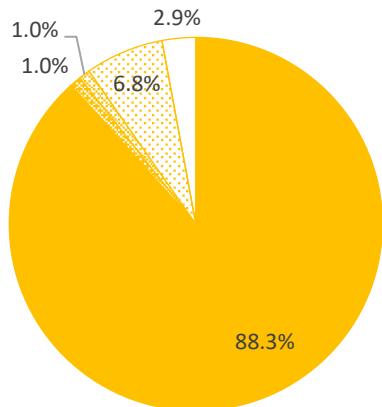
a) 就学援助

(利用しない理由)

n=161



n=103



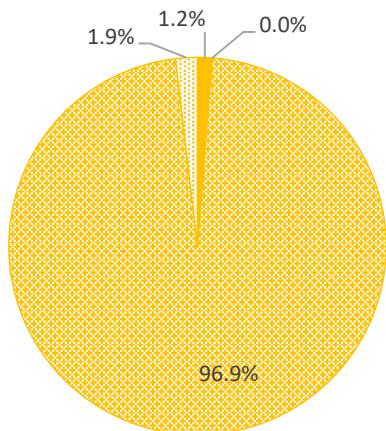
- 1 現在利用している
- 2 現在利用していないが、以前利用したことがある
- 3 利用したことがない
- 不明・無回答

- 制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが手続がわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 不明・無回答

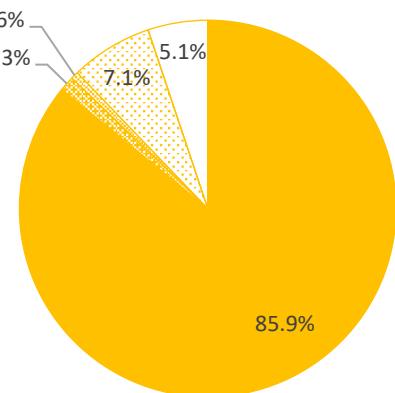
b) 生活保護

(利用しない理由)

n=161



n=156

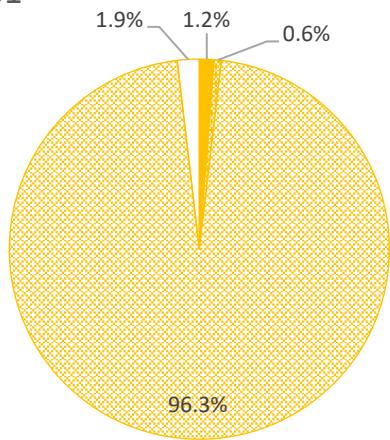


- 現在利用している
- 利用したことがない
- 不明・無回答

- 制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが手続がわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 不明・無回答

c) 生活困窮者の自立支援相談窓口

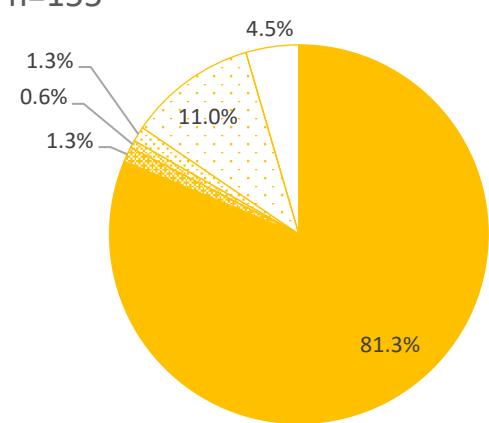
n=161



- 現在利用している
- ▣ 現在利用していないが、以前利用したことがある
- ▨ 利用したことがない
- 不明・無回答

(利用しない理由)

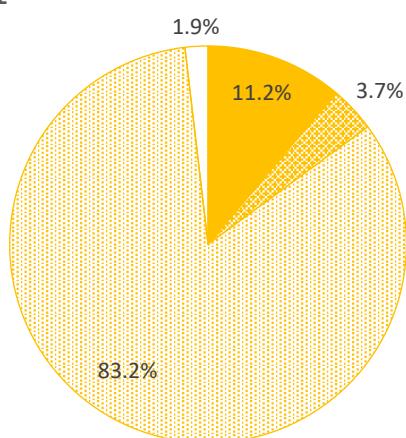
n=155



- 制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから
- ▣ 利用はできるが、特に利用したいと思わなかつたから
- ▨ 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかつたから
- ▢ 利用したいが手続がわからなかつたり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 不明・無回答

d) 児童扶養手当

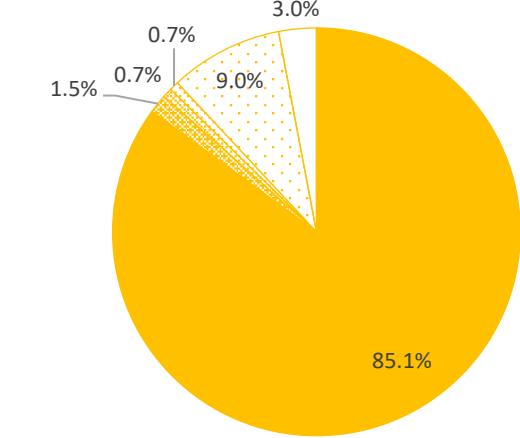
n=161



- 現在利用している
- ▣ 現在利用していないが、以前利用したことがある
- ▨ 利用したことがない
- 不明・無回答

(利用しない理由)

n=134

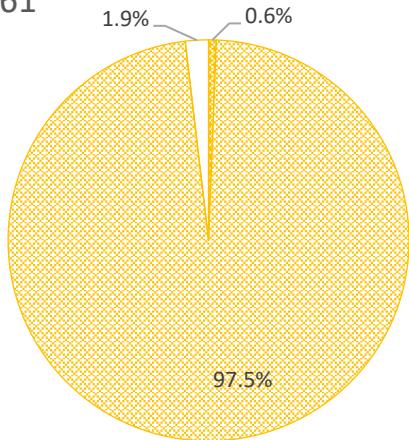


- 制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから
- ▣ 利用はできるが、特に利用したいと思わなかつたから
- ▨ 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかつたから
- ▢ 利用したいが手続がわからなかつたり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 不明・無回答

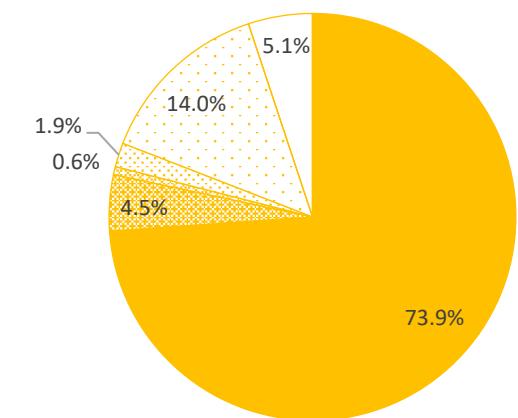
e) 母子家庭等就業・自立支援センター

(利用しない理由)

n=161



n=157



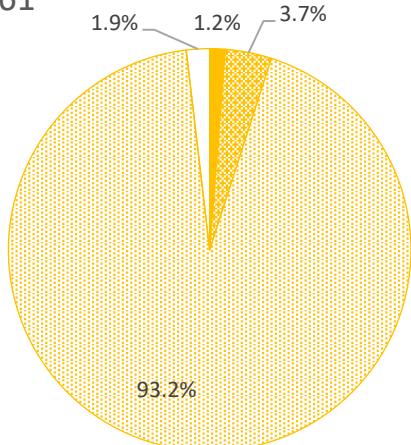
- 現在利用していないが、以前利用したことがある
- 利用したことがない
- 不明・無回答

- 制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが手続がわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 不明・無回答

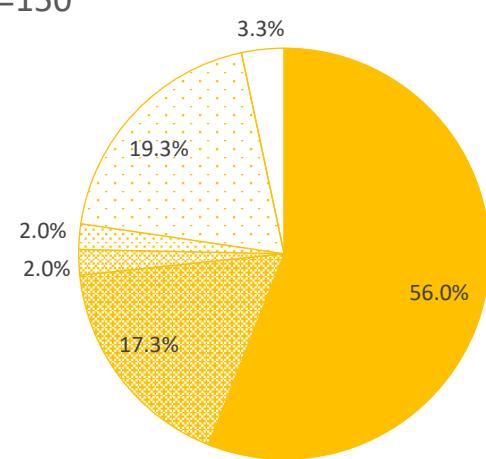
f) 家庭児童相談窓口

(利用しない理由)

n=161



n=150



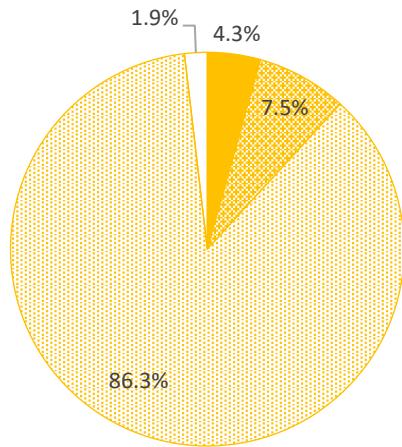
- 現在利用している
- 現在利用していないが、以前利用したことがある
- 利用したことがない
- 不明・無回答

- 制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから
- 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが手続がわからなかったり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 不明・無回答

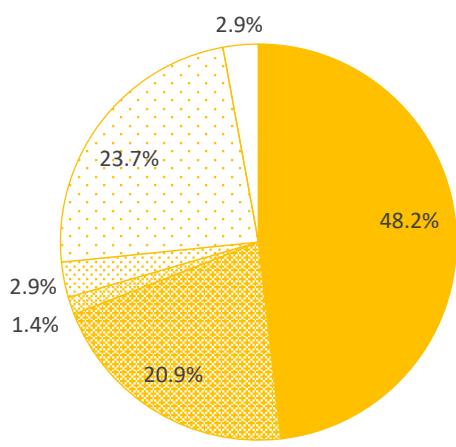
g) 各地区生活応援センター窓口

(利用しない理由)

n=161



n=139



- 現在利用している
- ▣ 現在利用していないが、以前利用したことがある
- ▣ 利用したことがない
- 不明・無回答

- 制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから
- ▣ 利用はできるが、特に利用したいと思わなかつたから
- ▣ 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかつたから
- ▣ 利用したいが手續がわからなかつたり、利用しにくいから
- それ以外の理由
- 不明・無回答

■ こどもの利用状況

子

(小学 5 年生)

- ・ どの居場所も「利用したいかどうか分からぬ」が最も多く、次いで「今後も利用したいと思わない」、「あれば利用したいと思う」が多くなっている。

(中学 2 年生)

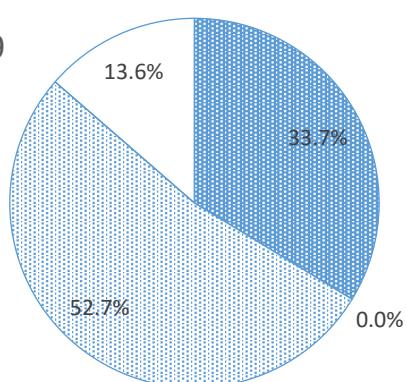
- ・ 「勉強を無料でみてくれる場所」については、「あれば利用したいと思う」が 43.8% と高くなっている。
- ・ そのほかの居場所については、「利用したいかどうか分からぬ」が多くなっている。

a) (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所

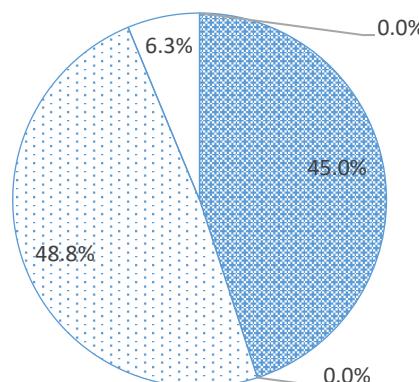
(小学 5 年生)

(中学 2 年生)

n=169



n=160

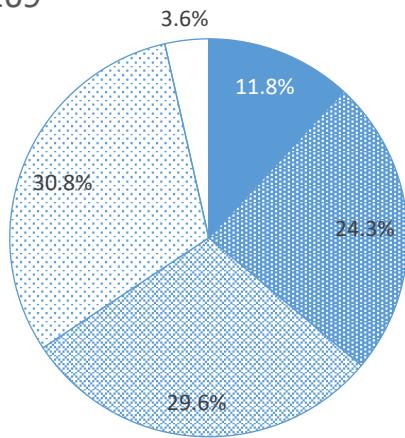


- あれば利用したいと思う
- ▣ 利用したいかどうか分からぬ
- ▣ 利用したことがある
- 不明・無回答

- 利用したことがある
- ▣ あれば利用したいと思う
- 今後も利用したいと思わない
- ▣ 利用したいかどうか分からぬ
- 不明・無回答

b) (自分や友人の家以外で) タコはんを無料か安く食べることができる場所（子供食堂など）
 (小学 5 年生)

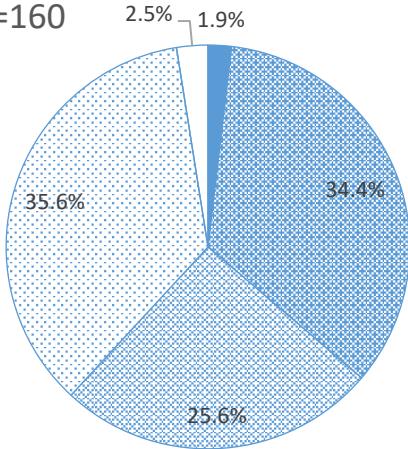
n=169



- 利用したことがある
- あれば利用したいと思う
- 今後も利用したいと思わない
- 利用したいかどうか分からぬ
- 不明・無回答

(中学 2 年生)

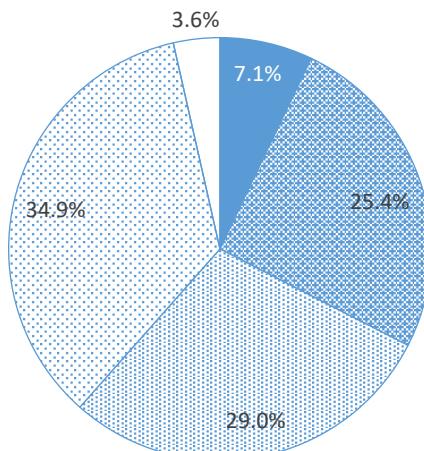
n=160



- 利用したことがある
- あれば利用したいと思う
- 今後も利用したいと思わない
- 利用したいかどうか分からぬ
- 不明・無回答

c) 勉強を無料でみてくれる場所
 (小学 5 年生)

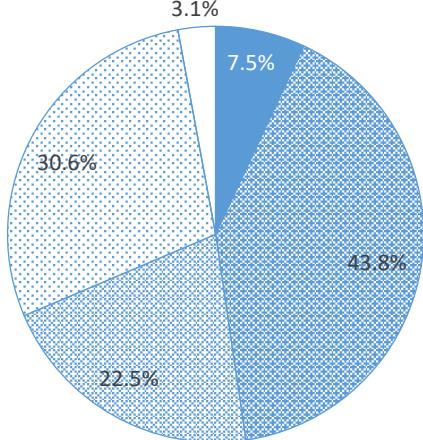
n=169



- 利用したことがある
- あれば利用したいと思う
- 今後も利用したいと思わない
- 利用したいかどうか分からぬ
- 不明・無回答

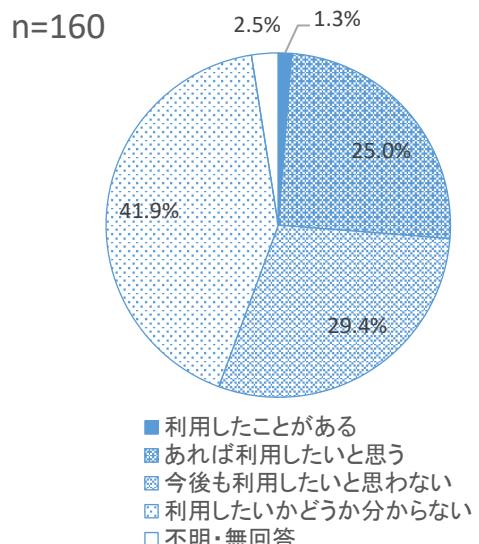
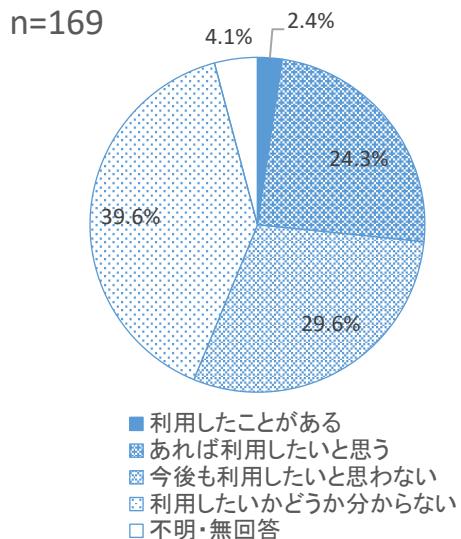
(中学 2 年生)

n=160



- 利用したことがある
- あれば利用したいと思う
- 今後も利用したいと思わない
- 利用したいかどうか分からぬ
- 不明・無回答

d) (家や学校以外で)何でも相談できる場所（電話やネットの相談を含む。）
 (小学 5 年生) (中学 2 年生)



■利用した後の変化 子

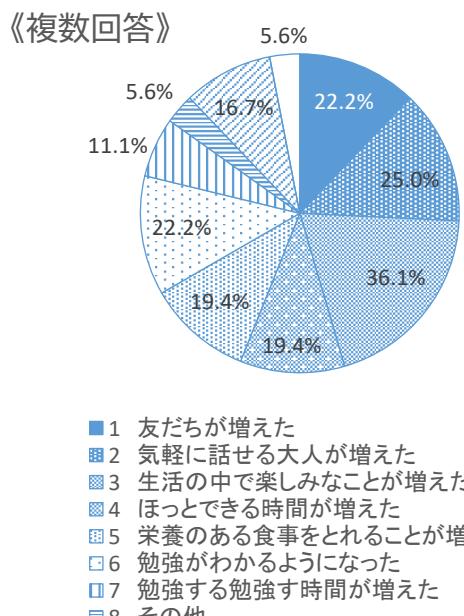
(小学 5 年生)

- 「生活の中で楽しみなことが増えた」が 36.1%、次いで「気軽に話せる大人が増えた」25.0%、「友達が増えた」22.2%、「勉強がわかるようになった」22.2%となっている。

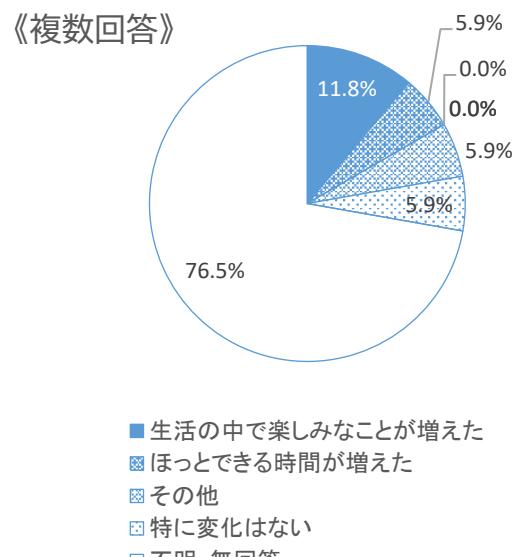
(中学 2 年生)

- 不明・無回答が 76.5%となっており、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が 11.8%となっている。

(小学 5 年生) n=36



(中学 2 年生) n=17



■自由記載

【小学生】

《心配していること、悩んでいること》

- ・親・兄弟・祖父母等の体調等の心配
- ・友達関係の悩み
- ・自分の将来の心配
- ・勉強の心配

《こんな所があればいいなと考えていること》

- ・けんか・いじめ・悪口がない場所
- ・無料で誰でも相談できる場所
- ・気軽に遊べる所
- ・人に会わない静かな場所
- ・公園
- ・地魚などを知る受講会、釜石港を活気づけるイベント

【中学生】

《心配していること、悩んでいること》

- ・親・兄弟・祖父母等の体調等の心配
- ・進路の不安
- ・自分の体調の不安
- ・真剣に話を聞いてくれて、一緒に解決方法を考えてほしい

《こんな所があればいいなと考えていること》

- ・親のいない所、好きな人といれる所、友達と長い時間遊べる所
- ・夜でも入れる場所
- ・甲子にきれいな遊び場
- ・人の目をきにせず、自由で静かな場所
- ・おしゃれな図書館
- ・勉強を無料でみてくれる場所
- ・勉強できるスペース
- ・学校の帰り道で相談できる場所
- ・無料で遊べる場所やカラオケができる場所
- ・一人きりになれる場所